

北海道立図書館
北方資料参考図書解説目録 3
《 歴史・地理 》

200	歴史 ..	
202.7	古銭学	5
210	北海道史	
210.02	北海道考古学	5
210.03	参考図書（書誌・年表・歴史事典）.....	7
210.04	論集（史論・史話・史評）.雑記	15
210.1	通史	16
210.3 - .54	時代史	18
211 - 218	各地域の歴史	19
288	系譜・紋章・皇室	20
289	個人伝記	21
290	地理	
291	北海道の地理・地誌・紀行	26
291.02	史跡および名勝	27
291.03	参考図書（書誌・辞典・地名辞典）	30
291.034	地名研究	32
291.035	里程表	39
291.038	地図	40
291.1 - .9	各地域の地理・地誌・紀行	42
補遺	47
索引	51
新収資料紹介（平成13年10月～平成14年2月末受入分）.....		59
『北の資料』掲載記事目録（101号～）.....		91

は し が き

今回は歴史・地理分野の参考図書を紹介します。

北海道の歴史をひもとき、またたとえば各地の地名の由来をたずね、開拓の足跡をたどる手掛かりとなる資料です。

また、参考図書解説目録 1・2 の補遺を収めました。

H291.034/Na

根室・千島両国ノ地名ニ就イテ 長尾又六著 根室町(根室) 長尾又六 1928 8p 25cm
巻頭で地名の特徴について解説し、よく使われるアイヌ語(ベツ...河、ナイ...河、サツ...乾きたる など21語)を示す。つづく地名解は地名(日本語)、アイヌ語、義解の順。

H291.034/Ni

日本地名大事典 7 北海道 渡辺光等編 東京 朝倉書店 1968 403p 23cm
北海道の行政地名、自然地名、集落地名、交通経済地名(道路・用水・港湾等)、観光地名、歴史地名をまとめて五十音順に収録・解説。項目ごとに執筆者を明記。別立てで千島列島と海洋・海流・海底地形などの地名も掲載。巻末に索引と、全巻付表として全国市区町村別人口・面積表、主要道路、国立・国定・都道府県立自然公園一覧を収める。

H291.034/Ni

北海道地名誌 NHK北海道本部編 札幌 北海教育評論社 1975 747,154p 22cm
地名事典等で扱わない字名・町区名とその通称、山岳・河川・湖沼・岬・海岸等の自然地名では小丘・小川・沢・洞窟や岩石等、可能な限り小地区小対象を採録。一方、山脈・盆地・支庁・国郡名など、類書で間に合う広域・普遍的なものは割愛。合計12,871項目の地名、ヨミ、解説。市町村ごとに自然地名、温泉・鉱山等の一部の人文地名を先に、字名・町区名を最後に排列。同一種目の中は概ね五十音順。索引は地名種目別五十音順。「解説・北海道の地名」(更科源蔵)も収録。

H291.034/O

ちとせ地名散歩 長見義三著 札幌 北海道新聞社 1976 234p 19cm
『北海道新聞』さっぽろ近郊版(千歳)に連載した「地名散歩千歳市」に訂正加筆、新しく排列。支笏湖、千歳川、長都沼の順に、それぞれに注ぐ川は、川口からその水源に遡って地名をあげてある。五十音順索引あり。

H291.034/O

北海道の山名一覧 五万分の1の地形図に見る山名と標高 小山内東一編 札幌 北海道アルパインサービス 1992 68p 26cm
5万分の1の地形図にある北海道の山全部と、登山案内書・山名辞典等に記載されているもの、20万分の1地勢図や旧5万分の1等の地形図に表示のある山について標高、三角点を調べあげ、更に北海道の山に関する文献と照合。山名・標高・5万図名・地形図番号・点名その他の項を一覧にする。北海道の山名一覧索引図(1枚)を付す。

H291.034/R

羅臼町の地名について 羅臼町郷土研究会編 羅臼町(根室) 羅臼町教育委員会 1977

凡 例

1 収録範囲

- (1) 平成 14 年 2 月末現在、当館北方資料室で所蔵する歴史・地理分野の資料の中から 225 点を収録。
- (2) 厳密な意味での参考図書だけでなく読み物的なものまで、レファレンスに活用できるものは収めてある。

2 排列

- (1) 分類番号順とした。なお、同一請求記号の中は、書名のアルファベット順にした。
- (2) 分類は日本十進分類法（NDC）新訂 7 版による。ただし、郷土資料の特殊性から、分類の変更、補足、新設がある。
- (3) 道内の地域区分については、当館で定めた「北海道地域区分表」によっているが、この目録での各地域区分の名称はつぎのとおり、やや平易なものに改めてある。

- | | | | |
|---------------|-----------|--------|-----------|
| 1 北見・網走地方 | 2 根室・釧路地方 | 3 十勝地方 | 4 上川・留萌地方 |
| 5 空知・石狩地方 | 6 日高・胆振地方 | 7 後志地方 | 8 桧山・渡島地方 |
| 9 周辺地域（樺太・千島） | | | |

3 記載形式

(1) 記述

つぎの例を基本とし、必要に応じて付加、削除がある。

書名	副書名	巻次・年次	著編者	出版地	出版者	出版年	ページ数	大きさ	請求記号
									叢書注記

(2) 解題

何の本で、どのように利用できるかがわかるような解説につとめ、項目の排列・収録期間・収録点数・索引、その他の特記事項について述べた。

また、継続的な刊行物は、創刊年・終刊年などの出版の履歴について調査したが、追求できなかったものも多い。さらに、北方資料室の所蔵状況についても記した。

〈 200 歴史 〉

202.7 古銭学

H202.7/Ho

図録北海道の貨幣 資料による貨幣の歴史 北海道貨幣史研究会編 札幌 弥永北海道歴史館 1985 90p 26cm (図録シリーズ 1)

北海道に関わる貨幣や砂金掘りの歴史について、写真図版を多数用いて解説する。巻末に646(大化2)年から1984(昭和59)年までの「貨幣史年表」を付し、国内関係事項と北海道関係事項とを一覧にする。また、砂金掘り15名と金銀商・仲買人8名を顔写真付きで紹介する。

H202.7/To

東北・北海道の貨幣 東洋鑄造貨幣研究所編 札幌 ハドソン 1994 153p 26cm

近代以前に東北地方一帯で発行された貨幣を図版で紹介。北海道関係分は、箱館を中心とする道南地方と開拓使の貨幣12点を4ページにわたって掲載する。巻末に「東北・北海道貨幣史年表」を付す。国ごとに大別し、さらに藩別に一覧にする。

210 北海道史

210.02 北海道考古学

H210.02/B

全国遺跡地図 北海道 史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地所在地地図 [東京] 文化財保護委員会 1968 64,22枚 31×43cm

北海道の史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地を記入した、全道分の30万分の1地図24葉と、主要地域の7万5千分の1詳細図40葉。後半に所在地一覧を収める。

H210.02/B

全国遺跡地図 1 北海道 1-3 文化庁文化財保護部編 東京 国土地理協会 1978 - 1979 3冊 30cm

北海道の史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地を記入した7万分の1地図総数250図。北部・中部・南部の3分冊で、登載した埋蔵文化財包蔵地は5365か所。さらに、3分冊全てについての「史跡・名勝・天然記念物所在地名一覧」と、各冊ごとに、収載した地図番号順に列記した「埋蔵文化財包蔵地所在地名一覧」を収める。

H210.02/Ha

道南遺跡分布事典 函館中部高等学校考古学研究部編 函館 函館中部高等学校考古学研究部 1974 1冊 21×31cm

道南の23市町村について、それぞれの地域内の遺跡の名称・種別・所在地・時代区分・土器や石器その他についての一覧。後半に地図を付け、各遺跡の所在を示した。掲載数は472。巻末に遺跡名五十音順の「遺跡索引」あり。

H210.02/Ho

チャシ文献目録 明治前・1868～1982 北海道チャシ学会編 標茶町(釧路)
北海道チャシ学会 1983 29p 26cm

アイヌの砦(チャシ)についての総合文献目録。『北海道チャシ学会研究報告』2。約920点を収める。排列は、明治前と1868～1982年とに分けて、それぞれ著編者名のアルファベット順。その中をさらに年代順に排列する。『北海道チャシ学会研究報告』5(1990年)では、その補遺と、1983年から1990までの文献88点を紹介する。

H210.02/Ho

北海道遺跡埋蔵文化財包蔵地一覧 北海道教育庁社会教育課編 札幌 北海道教育庁社会教育課 1967 101p 26cm

北海道教育委員会で昭和40、41年度の2か年にわたって調査した道内約1600箇所の遺跡の所在一覧。巻頭の「埋蔵文化財包蔵地調査一覧整理番号区分表」により、各支庁管内、市別、郡別・町村別に、名称・所在地・遺跡の種類・地目・価値と該当する5万分の1地形図の図名を記載。

H210.02/Ho

北海道考古学邦文文献目録 第1集 - 第6集 松下巨編 小樽 松下巨 1961 - 1987 5冊
26cm

第1集の明治19(1866)年から第5・6集(合冊)の昭和60(1985)年まで、邦文によって発表された北海道の考古学及び関連科学文献の目録。年代別分類(発表年月順)と著者名分類(五十音順)に大別する。

付録として「在道考古学研究者名簿」(1集)「樺太千島考古学文献目録」(2集)「旧千島・旧樺太考古学邦文文献目録」(5・6集)「北海道旧石器・中石器文化分類目録」(3集)や、道内の関係する逐次刊行物の一覧(1、2、4集)を収める。

H210.02/Ho

北海道(渡島管内)埋蔵文化財包蔵地分布図 北海道教育庁渡島教育局編 函館 北海道教育庁渡島教育局 1987 1冊 27×40cm

渡島支庁管内の17市町村ごとに、埋蔵文化財の種類・名称・所在地・土地所有者や時代などを記した一覧と、各文化財につけられた登録番号を2万5千分の1地図上に示した「北海道埋蔵文化財包蔵地分布図」をまとめた。巻末に「北海道の古文化年表」(昭和62年1月末日現在)を付す。

H210.02/Ho

埋蔵文化財包蔵地一覧表 全道編 札幌 北海道教育委員会 [1976] 1冊 26cm

各支庁管内市町村別に種別・所在地や該当する2万5千分の1地形図名等を一覧にする。昭和51年1月現在の内容。付録として、道内の国・道・市・町の指定文化財について、市町村別に指定年月日・番号・指定区分・名称や所在地などを記す。

H210.02/Ka

樺太・千島考古学文献目録 杉浦重信編 札幌 サハリン考古学研究会 1990 17p 26cm
1904(明治7)年から1989(昭和64、平成元)年までの樺太考古学文献275点と、1891
(明治24)年から1989年までの千島考古学文献50点。それぞれ、発表年順に、著者、
論文・書名と、掲載誌または発行者を記す。

H210.02/Ki

網走管内考古学文献目録 北見郷土博物館編 〔北見〕北見郷土博物館 1976 - 1981
2冊 26cm

網走支庁管内における考古学に関する文献目録で、部分的にも網走管内に関わるもの、
またアイヌ関係のものでも考古学に関わるものは収録の対象とする。発表年月順に、文
献名、編著者名、掲載誌巻号を列記する。『北見郷土博物館紀要』6,11の抜粋。昭和46
~55年までのものを収める。昭和56~60年分は、『知床博物館研究報告』第13集(1991
年刊)の抜刷で所蔵。

210.03 参考図書(書誌・年表・歴史事典)

H210.03/A

北海道明治年鑑 荒甚三郎著 札幌区 荒甚三郎 1913 101p 23cm

明治元年3月から明治45年7月まで、北海道の「明治時代」にのみの絞った年表。
道庁や各地の出来事を、諸記録や古老の談によりまとめた。

H210.03/A

樺太に関する古文献の解説 相田泰三著 〔出版地不明〕〔出版者不明〕1932 15p 23cm
元禄13(1700)年から明治33(1900)年までの、樺太に関する日露戦争以前の出版
物35点について解説。排列は、出版年代順。

H210.03/A

明和学園附属図書館所蔵旧地崎文庫についての紹介と目録 1 北海道史関係の文書につ
いて 荒川邦彦著 江別 札幌商科大学 1971 46p 27cm

地崎宇三郎氏が戦前から蒐集し、戦後、広く市民や学生に公開され、道内唯一の民間
文庫であった旧「地崎文庫」と、その中の北海道関係文書についての紹介。その後箱
館奉行所時代から道庁函館支庁初期までの簿書(公文書の綴り)94点と、「附属資料」
を収めた目録を付す。排列は各簿書に含まれる文書の最終年の順による。『札幌商科大
学・札幌短期大学』第1巻第6号別刷。

H210.03/C

歴史資料保存機関総覧 東日本 地方史研究協議会編 東京 山川出版社 1979 443p
19cm

文書館、史料館、博物館、図書館など史・資料の保存機関の紹介と、そこに所蔵され、

公開されている史・資料の内容を示す。都道（府）県ごと、はじめにその地域の保存状況を概観し、特に北海道は札幌市内とその他は数支庁管内ごとに機関名の五十音順に排列する。各機関については、名称・所在地・交通機関・収蔵資料の内容・刊行物、利用法・休日などを記す。増補改訂版（1990年刊 一般 210.03/C/1）もあり。

H210.03/E

江戸時代蝦夷関係書目 をかもと著 東京 坂本書店 1926 p101～144 22cm

江戸幕府時代の（旧）樺太・千島を含めた蝦夷関係資料を挙げた目録。書名・著作者・刊年・冊数などについて記し、解説を付けたものもある。排列は書名の五十音順。収録書目の著作者の中から、板倉源次郎、大原左金吾、岡本監輔、工藤平助、本多利明、堀利熙、松浦弘、松田伝十郎、松前広長、村垣範正、最上常矩の11人の小伝を付す。『書誌』第3冊所載。

H210.03/E

江差町古文書資料調査所蔵目録 平成3年～6年度 江差町教育委員会編 江差町（桧山）
江差町教育委員会 1995 258p 18×26cm

江差町内の、個人が所有する古文書資料について、14家の4747点を各家ごと、文書の内容・性格により分類し、実態と所在を明らかにする。平成4～6年の調査対象とした資料のうち、木版本とその他書籍類、昭和以降の資料は掲載対象外とした。

H210.03/Ha

北海道史年譜 橋本堯尚編 橋本亮一更訂増補 札幌 橋商会 1949 113p 18cm

北海道に関して、特に、安東氏時代（1443～）、前松前藩時代（1590～）、前幕府直轄時代（1799～）、後松前藩時代（1821～）、後幕府直轄時代（1855～）、箱館裁判所及箱館府時代（1868）、開拓使時代（1869～）、三県時代（1882～）、北海道庁時代（1886～）という時代区分をし、1934（昭和9）年までを収める。附録として巻末に13市沿革、長官異動あり。1930年尚古堂刊（複写本）も所蔵。

H210.03/Ha

異舶来港年表 近藤重蔵原著 市立函館図書館編 函館 市立函館図書館 1953 10p
25cm

慶長元（1596）年から文化4（1906）年まで、長崎、浦賀、蝦夷地などへの外国船の来港を記した年表。特に寛永20（1643）年から文化4年までの、北方来港事情を詳述する。また、延享元（1744）年から文化4年までの、（大黒屋）光太夫一行などロシアへ渡った人々の漂流、死亡、抑留についての記述がある。北方関係探検漂流資料展覧会の資料目録の附録として近藤重蔵の原著を翻刻、印刷したもの。

H210.03/Ho

北海道外交関係史料目録 資料所在目録 北海道史料編集所編 札幌 北海道史料編集所

1950 1冊 26cm

昭和 25 年 8 月 1 日調の北海道所蔵旧記、函館市立図書館所蔵、渡島支庁所蔵古文書の所在目録。謄写印刷。

H210.03/Ho

北海道の出来事 365日 明治 - 平成 北海道新聞社編 札幌 北海道新聞社 1994
385p 19cm

明治元年から平成 5 年までの北海道の出来事を、1 月 1 日から 12 月 31 日までの各日ごとに、1 日 1 ページで紹介。その日あった事を、道内・国内・国際の三つにわけて記し、さらにその日生まれの各界の有名人を誕生年・分野と共に 2~3 人挙げる。全ページ写真入り。

H210.03/Hi

北海道史教材作成の手引き ひろせたかひと著 雄武町(網走) ひろせたかひと 1984
22p 26cm

高等学校の社会科教員に向け、地域社会の歴史・文化についての教材作成上の留意点と、約 70 点の資史料を紹介。資料については、教材化の観点から入手のしやすさもふまえながら、主な北海道史の概説書や、教材の素材となる資料と研究書を時代・分野別に紹介するほか、各地の歴史を伝える代表的な史料もいくつか列記する。

H210.03/Ho

北海道市町村史所在目録 昭和 53 年 12 月現在 [出版地不明] [出版者不明] [1978]
41p 21cm

各支庁ごとに市町村別に排列し、各資料について、北海道立図書館、北海道大学附属図書館北方資料室、函館・小樽・札幌の各市立図書館、木村八宏氏(個人)、北海道総務部行政資料課、北海道史編集所の各所蔵所(者)を示した。

H210.03/Ho

北海道史年表 北海道ユネスコ協力会連合事務局編 札幌 北海道ユネスコ協力会連合事務局 1951 1冊(中折) 23cm

古代から 1951(昭和 26)年までの北海道の主な歴史を、ひと目でわかる一枚もの(表裏)の表にまとめた。世界史と日本史上の主な出来事も併記する。

H210.03/Ho

北海道史略年表 北海道立文書館編 札幌 北海道 1988 159p 18cm

先史時代から昭和 63 年 8 月までの、北海道史の基本事項を順に記す。巻末に付録として「主な開拓移住団体図」「歴代長官・知事一覧」「市町村の沿革(明治 32 年 10 月~昭和 6 年 3 月)」ほかを収録。

H210.03/Ho

北海道史料展覽目録 北海道帝国大学附属図書館編 〔札幌〕〔北海道帝国大学〕 1928
31p 23cm

「北海道地図ノ変遷」「明治初年ニ於ケル札幌ノ写真」「開拓使時代関係文書」「アイヌニ関スル著書」「露国トノ交渉ニ関スル雑書(未定稿)」として出品資料 150 余点を記し、それぞれ解説を付ける。

H210.03/Ho

北海道空知支庁管内考古学邦文文献目録 1891 年～1992 年 富永慶一編 岩見沢 富永慶一
— 1993 29p 26cm

邦文で発表されたものを収録対象とする。年次別と市町村別分類の二本立てで編集。収録数 268 点。昭和 43 年から平成 3 年までの「空知支庁管内の市町村別遺跡分布数の変遷」も収録する。

H210.03/Ho

郷土史関係人名録 北海道文化財保護協会編 札幌 北海道文化財保護協会 1984 6p
27cm

昭和 58 年 10 月に各市町村教育委員会に依頼、調査したものと、協会の資料を基に作成した。各支庁管内、各市町村ごとの郷土史関係研究者名と専門分野を記した一覧。『文化情報』(昭和 59 年 4 月 30 日)から抜粋。

H210.03/Ho

新北海道史年表 北海道編 札幌 北海道出版企画センター 1989 718p 19cm

『新北海道史』第 9 巻史料 3 の年表部分を再版したもの。若干の事項について必要な訂正を加えてある。明治以前(544 年)から昭和 45(1970)年まで。明治以降は政治、経済・産業、社会・文化と、国内・国外の 4 欄に分け記す。道内に関する事項には、各項目の末尾に数字で出典を示し、「出典一覧表」により対照させる。

H210.03/Ho

史的遺産基礎調査結果報告書 北海道総務部文書課編 札幌 北海道総務部文書課 1963
57 枚 26×36cm

全道の開拓功労者の遺品および遺産(建物、農漁・狩猟具、記念碑・像、書簡・記録類、絵画・写真・地図、日常生活用品、衣類、開拓初期の各種製造用機械器具、馬車等の交通関係)の実態と所在のリスト。建物、記念碑は功労者に限らない。また、国・道・市町村等指定文化財は除く。巻頭に件数総括表、本編は種別・支庁別に排列。功労者名、名称、形態、写真の有無、所在地・所有者、作成年代・作成者を記載。博物館等旧蔵品や功労者以外の史的遺産を巻末付録とする。

H210.03/Ki

北海道市町村史書目稿 木村誠一編 [小樽] [木村誠一] 1952 1冊 25cm

家蔵、個人所蔵のもののほか、『北海道出版小史』『北海道史料所在目録』等により取材した道内の市町村資料の中から、町村別に分類し得る史書 184 点を抽出。市町村の記載の順序は、昭和 27 年度版の『北海道年鑑』(北海道新聞社)による。書名・著編者名・判型・ページ数のほか、刊行の経緯について記したものもある。

H210.03/Ko

維新前北海道変災年表 河野広道編 札幌 尚古堂 1932 24p 22cm(蝦夷住来叢書 第 1 編)

1467(応仁元)年から 1866(慶応 2)年の間に北海道で起こった飢饉・津波・噴火・地震などをまとめる。古文書に記載のあるものはその出典を共に記す。附録として 658(斉明 4)年から 1795(寛政 7)年までの「蝦夷乱年表」を収める。

H210.03/Ko

国産振興博覧会北海道歴史館陳列品解説 河野常吉編 札幌 東武 1926 198p 19cm

先史時代、アイヌ風俗、安東氏及前松前藩時代、前幕府直轄時代、後松前藩時代、後幕府直轄時代、箱館裁判所及箱館府時代、開拓使及三縣時代、北海道庁時代と 9 つの部門に分け、先史時代の遺物やアイヌの服飾品、また北海道の各時代の地図や家譜、文書類、写真などの形態や時代、当時の所蔵者を記し、解説を付す。

H210.03/Ko

終戦までの北海道内地方史誌 越崎宗一編 札幌 北海道史研究会 1974 p 40 ~ 46
26cm

明治期から終戦までの市町村史(誌)の一覧。自治体の公費で編集・刊行したもの、教育団体または小学校が編集・刊行したもの、個人及び民間団体が編集・刊行したものの 3 グループに分け、それぞれを発行年順に配列してある。収集点数 276 点。『北海道史研究』第 5 号抜刷。

H210.03/Ky

郷土の歴史資料展出陳目録 市立函館図書館編 函館 市立函館図書館 1959 86p 25cm

昭和 34 年 7 月 3 日 ~ 5 日に行われた展示の目録。道史全般に関する総記的な資料 156 点と「史前及び宇須岸時代」から明治後半までの各時代を表す代表的な歴史的資料 879 点を列記する。年代と史料の対比目録としても利用できる。題材の時代別に排列。一部注記あり。

H210.03/Ma

松前地方年表稿 松本隆編 福山町(渡島) 福山町役場 1934 17p 19cm

文治 5 年から大正 15 年まで(1189 - 1926)の松前地方の年表。施政者、松前藩主、

事柄で構成。

H210.03/Na

名取武光先生著作目録 松下巨編 札幌 北海道考古学会 1968 5p 27cm

考古学及びアイヌ文化史研究で数多くの業績を残した名取武光氏の著作目録。昭和 43 年に退官された氏の 40 余年の在職中に発表した著作（共著を含む）を収録。考古学関係 96 点、民族学関係 58 点、動物学関係 9 点を、それぞれ発行年月日順に配列。『北海道考古学』第 4 輯別刷。

H210.03/Na

下北地方史年表 鳴海健太郎編 青森 鳴海健太郎 1960 79p 21cm（研究報告 第 5 輯）

海峽を挟んで古くから交易、人物交流において北海道とも深い関わりを持つ下北地方の年表。収録年代は 645（大化元）年から 1957（昭和 32）年。

H210.03/Ne

年表でみる北海道の歴史 北海道新聞社編 札幌 北海道新聞社 2001 206p 20cm

2000 年までの一般的な事項の年表。北海道、国内、国際の 3 項に分かれており、ふり仮名を多用し適宜脚注をいれるなど、平易な内容となっている。昭和期は各年に簡単な北海道の物価も記載。

H210.03/O

北海道史に関する研究書概説 奥野清介著 札幌 三田印刷所（印刷） 1931 14p 23cm

「明治以前の北海道研究資料につき」「北海道探検者及開発論者の著」等 12 の研究対象の基本文献を 1 次・2 次資料取り混ぜて解説している。各文献はタイトルのみ。索引なし。

H210.03/O

今日の歴史こよみ 大山操編 旭川 富貴堂 1967 1冊 21cm

365 日それぞれに関係する昭和 40 年までの歴史的事項と年中行事を世界・日本・北海道（旭川）の 3 段に分け、年代順に列記している。また、その日に縁のある人物の格言を載せている。付表に万年暦、十干十二支、改元暦等を収録。

H210.03/O

新考北海道史年表 奥山亮著 札幌 みやま書房 1970 212p 19cm

昭和 43 年までの政治・経済・社会等一般的な年表。序に各部門・市町村の既刊の年表の解題があり、参考になる。附録に北海道行政長官歴代、屯田兵配置表、北海道工業の推移、小樽市の物価推移、小樽市の年次別卸売物価指数、小樽市の賃金・実質賃金指数を収録。

H210.03/Sa

北海道郷土暦 札幌中央放送局編 札幌 楡書房 1955 233p 19cm

北海道での出来事、行事を日付順に排列。対比として日本と世界の出来事を含む。重要事項には出典がそれぞれ付けられている。毎月ごとにまとめられ、各月の終わりに日付が不明な出来事とその月の「北の風物」(更科源蔵執筆)を紹介。

H210.03/Sa

維新前件名別北海道略年譜稿 第1輯 - 第5輯 佐藤真編 [函館] [市立函館図書館]
1940 5冊 19cm

「会津藩」「アイヌ」「有珠善光寺」「博物館・植物園」等 251 の件名について、それぞれ年代順に事柄を列記。件名は五十音順に排列。第5輯巻末に「件名総索引」あり。

H210.03/Su

社会科のための北海道歴史年表 砂川女子高等学校編著 札幌 北方民生協会 1949 16p
22cm

西暦 659 年から 1949 年までの年表。西暦、年号、政治文化、産業交通、火災天災の 5 段で構成。出典等の記載なし。

H210.03/Ta

北海道史の歴史 主要文献とその著者たち 高倉新一郎著 改訂版 札幌 みやま書房
1964 115p 21cm

『新羅之記録』から『新撰北海道史』までの 13 タイトルの代表的な北海道史資料の解題。編纂の背景や対比資料の紹介、『北海道史』編纂に携わった「河野常吉」など、郷土史家 4 名の人物紹介もある。『北海道郷土研究資料』第 1 (北海道郷土資料研究会 1959 年刊 H210.08/Ho/1) 収載の同名論文の改訂、活字化。附録に「樺太の研究」(関係資料の紹介)あり。巻末に索引あり。北海道立図書館所蔵の資料には印を付す。

H210.03/Ta

新修北海道史年表 橘文七編 札幌 北海道文化資料保存協会 1956 1枚(折たたみ)
26cm

昭和 26 年刊行の北海道史年代表を大幅に加筆修正したもの。世界史、日本史、北海道史の 3 段で構成。北海道史については北海道行政長官(明治以降は県令、局長、北海道庁長官、知事)の氏名が書かれており、一目でわかる。カラー編集。

H210.03/Te

蝦夷史料解説 天理図書館出品 天理図書館編 丹波市町(奈良県) 天理図書館 [出版
年不明] 1冊 26cm

洋書の部と和書の部で構成。洋書はキリシタン宣教師の資料など。和書は 18~19 世紀の図書、地図の解説。巻末に 658 年から 1875 年までの主に外国と蝦夷地との関係事項

をまとめた「蝦夷地関係略年表」がある。謄写印刷。

H210.03/To

新編北海道の年譜 1985年版 戸崎繁著 札幌 北海道政経調査研究所 1985 172p
21cm

開拓使が設置された明治2年から昭和58年まで(1869 - 1983)の道政に関する事項を中心とした年表。その他「明治、大正、戦前北海道でのことはじめ」、「スポーツ主要史一覧」、「労働関係・労働運動主要史一覧」、「北海道の大火一覧」、「自然災害事故及び流行病一覧」、「主要炭鉱事故一覧」、「歴代北海道の長官、知事、議長、副議長就・退任一覧」など主題別の一覧がある。

H210.03/To

徳川幕府ノ松前地方直轄時代年表 松前藩梁川転封時代・松前奉行時代 松本隆編〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕9p 27cm

文化4(1807)年大野村字一本木開墾から文政5(1822)年松前藩塾創立までの年表。文化4年、前年の樺太に続き択捉のロシア侵入により、幕府は松前章広を陸奥梁川に転封し、西蝦夷地を直轄にした。本書は文政5(1822)年の章広への蝦夷地官還与までの16年間の北方警護の経緯を記した年表資料。編者は福山町長。謄写印刷。

H210.03/W

北海道郷土史事典 渡辺茂著 札幌 北書房 1965 167p 22cm

郷土資料で見られる特殊な用語を取り上げて解説した辞典。その語彙の説明だけでなく、北海道史上の重要な事件や問題をあげ、簡単な説明を加えてわかりやすい。534語を収録。五十音順に排列。巻末に分類索引あり。

H210.03/W

北海道歴史事典 渡辺茂編著 札幌 北海道出版企画センター 1982 292p 19cm (北海道ライブラリー 16)

『北海道郷土史事典』に約300語を増補し、図版写真を加え、改訂再版したもの。五十音別に排列。巻末に分類索引あり。

H210.03/Y

戦後市町村史総合目録 1967 横浜市立大学事務局学生課編 横浜 横浜市立大学 1967
1冊 21cm (都市問題講座文献シリーズ 第1)

2部構成。第1部は横浜市立大学図書館に所蔵している昭和20年から41年までに刊行された地方史目録。第2部は昭和20年から41年までに刊行された県史、市町村史(誌)、資(史)料集、年表についての総合目録。いずれも北海道部分の抜粋。第2部は所蔵館も明記されている。

210.04 論集（史論・史話・史評）・雑記

H210.04/Ho

北海道元祖物語 〔製作地不明〕〔製作者不明〕〔製作年不明〕 1冊 17×34cm

道路開鑿から牛乳屋、蟹缶詰など様々な事柄について、北海道での始まりを書いた新聞連載の切抜き綴り。30回連載。あまり取り上げられない事柄もあり。第17回を欠く。

H210.04/Ho

北海道の暦 今日は何の日？ 本田慶一編著 札幌 中西出版 1995 192p 21cm

“今日は何の日”かと、北海道の出来事を365日それぞれ対比させて掲載。また、季節メモとしてその時期に関係の深い自然現象を紹介。道内の各市町村で行われている祭り及び神社の祭典日、気象データ等も収録。付表、付図には野鳥の生息期間、魚の獲れる時期、樹木と草花の開花期間、山菜の採取時期など、見やすい表が収録されている。

注記として「何の日」の由来が書かれており、北海道に限らず暦に関することを調べるのに役立つ。

'97年版（1996年刊 179p 26×12cm）は祭、イベントを各月の終わりに紹介。気象データは内容が増えているが、付表は'95年版の方が充実している。

H210.04/I

箱館英学事始め 井上能孝著 札幌 北海道新聞社 1987 238p 19cm（道新選書 3）

昭和25年に旧函館支庁書籍庫から発見されたLetter Bookには明治4（1871）年から明治6（1873）年にかけて英訳された主に各国領事宛て書簡、公文書227通の写しが収められている。本書はそのLetter Bookを題材に初期箱館の英学事情を解説したもの。

Letter Book 件名目録として、宛名別の「開拓使より各国領事宛て公文書反訳の写し件名目録」を収録。参考文献・箱館英学年表（1808年～1922年）あり。

H210.04/Ka

北海道覚え書 枯木虎夫著 札幌 札幌地方検察庁 1962 127p 18cm

地名、方言、アイヌ語等北海道に関係のある事柄について用例、語源、北海道での始まり等をわかりやすく説明。211語を収録。五十音順に排列。『検察春秋』別冊。

H210.04/Ni

北海道事始め NHK札幌中央放送局編 札幌 楡書房 1956 227p 19cm

昭和27年から翌年にかけて放送された「北海道事始め」を集録。28名の郷土史家・学者による38のトピックス。産業、通信、政治、日用品等広く一般的な事柄を取り上げている。1979年の再版も所蔵。

H210.04/Y

北海道なんでもルーツ 吉岡道夫著 札幌 北海道新聞社 1989 286p 19cm

食物、暮らし、交通、教育・文化、レジャーなどの北海道での始まりについて詳しく

説明。37 項目をジャンル別に排列。

H210.07/Ta

北海道市町村史編集の手引 高倉新一郎述 江別 北海道史研究協議会 1977 57p 18cm
市町村史編集の問題点をまとめ、解決することを目的とした手引書。地方史の定義から具体的な準備、編集手続き（史料の調査収集、読解・批判、執筆等）、その後の後始末等、各段階での問題・注意点を細かく具体的に挙げている。

210.1 通史

H210.1/F/1

ふるさと探求 北海道 212 市町村のルーツを求めて -。 上・下 北海道生活文化史研究会編 札幌 アド真美 2000 2冊 22cm

北海道 212 市町村のルーツについて一目でわかるように、主に産業の面から現在までの歴史を 1 市町村 2 ページで簡単に説明している。人物や風景の図版多数。また、入植者の主な出身県を図説。14 支庁別に排列される。各章末に管内市町村章とその解説あり。

上巻は渡島、檜山、石狩、後志、空知、上川支庁。下巻はそれ以外及び 14 支庁概況を収録。上・下巻ともに同一の年表（1189 年 - 1994 年）を付す。内容は市町村の変遷、産業について。

H210.1/Ha

藩史大事典 第 1 巻 北海道・東北編 木村礎〔ほか〕編 東京 雄山閣出版 1988 516p 27cm

藩の歴史について、総合的にまとめた事典。北海道については松前藩（福山藩）と館藩を収録。藩の概観、居城、家紋、系図、藩主一覧、略年表、家老とその業績、職制、領内支配の職制等、領外（飛地）の支配機構、主要交通路、藩校、参勤交代、藩の基本史料・基本文献など 25 項目を立てている。各項目の記述には出典を明示。藩別史料・文献総覧、藩名索引、藩主名索引は第 8 巻（一般 210.5/Ha/8）。

H210.1/Ho/8

北海道の研究 第 8 巻 文献目録・索引篇 関秀志編 高倉新一郎監修 大阪 清文堂出版 1988 325p 22cm

シリーズ 1 巻～7 巻の総索引の他、北海道史を中心とした北海道の研究に関する文献目録を収録する。文献目録には単行本約 5,000 冊（種）を収録。その補完として、論文については雑誌、研究誌、学会誌等 200 種を目録の末尾に収録する。主題別に刊行年順に排列。特に「地域史・誌」について札幌市、各支庁及び北方（千島・樺太）の別に詳しく列挙している。

H210.1/Ho

北海道史料 北海道史料編集所編 札幌 北海道史料編集所 1956 - 1957 1冊 25cm

第1集は歴代の首長（箱館裁判所総督から昭和31年現在の北海道知事まで）の名簿。前官職や覚書も掲載。第3集に北海道における市町村名の由来（その1 市の部）、第5集に同（その2 町村の部）を掲載。第1集～第5集合本の内。人名も市町村名もルビ付き。謄写印刷。

H210.1/Ho

北海道史 北海道庁編 札幌 北海道庁 1918 3冊 22cm

北海道庁が編纂に着手した最初の北海道史。河野常吉が主任として選任され、事業に着手。全6冊の予定だったが、本編の第1（上古より平安朝に至る第1編から後幕領時代の第6編まで）と付録（管轄略譜、年表、統計表）および付録地図の3冊のみ出版され中断した。この時の編纂のための資料および草稿が当館に河野常吉資料として収蔵されている。

H210.1/Ho

新撰北海道史 第1-7巻 北海道庁編 札幌 北海道庁 1936 - 1937 7冊 22cm

大正13年に終わった『北海道史』を、新たな構想で、道庁時代のほぼ大正期まで全7巻にまとめて北海道庁が編纂。第1巻：概説、第2巻～第4巻：通説1～3、第5巻・第6巻：史料1・2、第7巻：管轄略譜・年表・統計・索引・編集略程

平成2年に清文堂出版から出された復刻版も所蔵。

H210.1/Ho

新北海道史 第1-9巻 北海道編 札幌 北海道 1969 - 1981 9冊 22cm

開道100年の記念事業として北海道が編集。第1巻：概説、第2巻～第6巻：通説1～5、第7巻～第9巻：史料1～3。第9巻の史料3には第1～6巻の参考資料（年表・統計・索引）を収録。年表の各事項には出典番号が付記され、関連文献にあたることのできる。時代ごとの出典一覧を別掲。『北海道史』、『新撰北海道史』とともに郷土資料の基本図書。

H210.1/Ho

年表・北海道の百年 北海道総務部文書課編 札幌 北海道 1968 100p 19cm

明治2年以降北海道の事項を中心に、明治以前についても重要なものは掲載。年表を補足する意味でコラムも載せてある。

修正版（北海道文化団体協議会 1968刊）もあり。

H210.1/Ho

新聞と写真に見る北海道昭和史 1926～1989 北海道新聞社編 札幌 北海道新聞社 1989 296p 27cm

写真を中心に構成。当時の紙面をそのまま使用しているものもある。編年体で編集。写真と説明の主題は年表の項目を中心にしてあるが、年表にないものも取り上げている。

世相のコラムにはその年の流行語・文芸・出版・映画・物価・流行歌・故人録が記されている。

H210.1/Ky

郷土史事典北海道 高倉新一郎監修 東京 昌平社 1980 203,9p 20cm

先史・中世の「北海道の夜明け」から近世の「島主松前藩の成立」、近代「近代化を求めて」などの各項目で北海道の歴史を解説。巻末に索引・年表・沿革表あり。

改訂版（1982刊）もあり。

H210.1/Ni

輓近大日本拓殖史 東京 日本行政学会 1934 1冊 27cm

各植民地の開拓の沿革と現況を詳述する 2000 ページを超える大部の書。うち第 4 篇北海道編第 11 章拓殖人物（p353～392）、第 5 篇樺太編第 12 章拓殖人物（p273～294）では、歴代長官および北海道庁・樺太庁の幹部職員の略歴を紹介。概ね肖像あり。人物の集録は昭和 9 年 3 月末現在。

H210.3/Ka

史料と語る北海道の歴史 中世・近世篇 海保嶺夫著 札幌 北海道出版企画センター 1985 247p 19cm（北海道ライブラリー 23）

通常の北海道史の叙述の基礎となっている史料を前面に出し、“史料”と語る方式を取っている。附録 1 主要史料解題（政治史を中心に）では「新羅之記録」など 20 点、附録 2 参考文献では 1 通史類・史料集の項、2 各節参考文献の項にわけ資料の紹介、附録 3 では史料索引（兼史料収録文献目録）を五十音順に示している。

210.5 近代

H210.52/Ho

北海道における日米の歩み 日米修好通商百年記念 札幌 北海道日米修好通商百年記念行事運営会 1960 72p 18cm

北海道とアメリカとの関係を歴史的に回顧し、併せて本道の開発史に不滅の光を掲げた人々の功績を記す。第 6 章光を掲げた人々ではアメリカ人関係 35 名、日本人関係 7 名の事跡を簡単に説明。参考文献を付す。

H210.52/Ho

開拓 原田一典著 東京 鹿島出版会 1975 214,23p 19cm（お雇い外国人 13）

開拓使に雇用された外国人は、開拓使時代を通算すると半数以上のアメリカ人を主体として 78 人の多きに達した。本書は、開発の構想・組織とともに、お雇い外国人らの事跡を書いた。巻末に、参考文献・関係年表・開拓使お雇い外国人総覧・索引がある。

H210.52/Ho

明治大正期の北海道 写真と目録 目録編 北海道大学附属図書館編 札幌 北海道大学図書刊行会 1992 309p 26cm

北海道大学附属図書館北方資料室所蔵の主として明治・大正期の北海道開拓写真の目録。補足資料として写真帖、絵はがき（昭和20年以前に発行のもの）を付録として追加。写真は地域ごとに分類。付録2には印刷アルバムを収録。また、アイヌ民族、人物、資料写真等は独立の項目とし、北大の沿革写真も付す。北大のホームページ（北方資料データベース）でも検索可。

H210.52/Ho

明治大正期の北海道 写真と目録 写真編 北海道大学附属図書館編 札幌 北海道大学図書刊行会 1992 270p 26cm

北海道大学附属図書館北方資料室が保管している写真コレクションのうち約1400点の写真を収録。配列は上記「目録編」の順に従い、各写真には目録の一連番号を付してある。それぞれの写真には簡単なキャプションと撮影年代のみを記してある。

211 北見・網走地方

H211.51/Hi

雄武文献目録 地域教材開発のための基礎的資料 広瀬隆人編 雄武町（網走） 雄武高等学校 [1984] p81~91 26cm

雄武町管内の地域に関する各種の文献を項目別（雄武町で出版されたもの、考古学・埋蔵文化財に関するもの、近世史料・古地図、自然・産業に関するもの、文化に関するもの）に記した。社会科等の地域教材の素材収集のための基礎作業として作成したもの。雄武高等学校研究紀要『永光』第8号からの抜粋。

213 十勝地方

H213/To

十勝大百科事典 十勝大百科事典刊行会編 札幌 北海道新聞社 1993 1214p 図版20枚 27cm

本編、資料編、グラビア、索引で構成。本編は序章と自然、歴史、産業、社会、文化、健康、明日の8章からなる。収載項目は2270の基礎項目と一行知識870項、索引項目6300を収録。グラビア写真250点、本文写真950点、図表660点も収録。

214 上川・留萌地方

H214.15/Ta

たかす百科事典 たかす百科事典編集委員会編 鷹栖町（上川） 鷹栖町 1992 341p 25cm

町100年の歴史に関連する最小限の項目を設け、さらに未来に向けての知識と問題点を提起し、あわせて「読みもの事典」として読んで楽しめる事典を目指して編集。五十

音順排列。巻末に「たかす百科辞典分類別索引」を付す。

218 桧山・渡島地方

H218/Mi

函館・道南大事典 南北海道史研究会編 須藤隆仙監修 東京 国書刊行会 1985
482,24p 27cm

函館市および道南（南北海道）に関する人文・社会・自然のすべての分野について、約 3700 項目を簡潔に記述。項目は五十音順。巻末付録には分野別索引、難読地名一覧、函館・道南地方史略年表、道南の主な祭りなど。人物は原則として故人に限定。ただし、例外的に特筆すべき著名人は現存者も収録。

H218.6/Ha

北の文明開化 函館事始め百話 早坂秀男，井上能孝著 若山徳次郎監修 札幌 北海道新聞社 1991 228p 19cm

函館は幕末から明治にかけ、日本の歴史的な転換期に北限のただひとつの開港場として歩んできた。第 1 話：本道測量の第 1 歩 伊能忠敬函館山頂に立つ（寛政 12 年）から第 100 話港まつり幕開く（昭和 10 年）まで年代順に説明を加える。図版多数。

巻末に「はこだて事始め概史」としての年表、「函館の坂」、「函館の碑」一覧あり。

H218.6/Mo

今日はなんの日 新編函館郷土暦物語 元木省吾編 函館 幻洋社 1988 410,21p 21cm

過去 500 年間に起こった歴史的事実はもちろん、人物や地方の事柄も集録した 365 日事典。函館を中心としてあるが、函館に特に関係の深い地方のことにも及んでいる。世界や日本の出来事も付記。

毎年行われる事柄は「付録・月次（月並み）風俗行事のおもなもの」として巻尾にまとめてある。昭和 33 年までを収録。

初版『函館郷土暦物語』（函館郷土史研究会 1964）も所蔵。

288 系譜・紋章・皇室

H288.1/D

道産子のルーツ事典 先祖を正確に調べる方法 北海道の苗字二〇〇〇姓の由来と家系を探る 岸本良信著 札幌 中西出版 2001 435p 21cm

日本初の道産子のための苗字事典。我が家と本州とのむすびつきを発見できる構成。すべての苗字に発生由来を記し、本州のどこから多く渡道したかを解説、道産子の祖先を知るための事典。そのほか 7 つの特徴をあげている。巻末に五十音順苗字索引がある。

H288.48/Sa

北海道行幸啓誌 札幌 札幌市 1955 224p 図版 16 枚 22cm

本篇は昭和 29 年の行幸啓の記録。併せて明治以来の北海道行幸啓（明治 9 年の行幸、

明治 14 年の行幸、明治 44 年の皇太子の行啓、大正 11 年の皇太子の行啓、昭和 11 年の行幸) についてその概要を記す。挿入写真目次あり。

H288.9/Ho

北海道市町村旗一覧 北海道町村会編 札幌 北海道町村会 1969 1 枚 103×73cm (折りたたみ 26×19cm)

昭和 44 年当時 (29 市 187 町村) の各市町村旗一覧。カラー。各都市の面積、人口、態様区分 (主幹産業) を掲載。人口等の基礎データは昭和 40 年の国勢調査を元にする。

289 個人伝記

H289/C

W.S.クラーク博士関係文献目録 邦文編・未定稿 北海道大学編 札幌 北海道大学 1986 p33~25 26cm

『北大時報』383 (昭和 61 年 2 月号) に掲載された「W.S.クラーク博士没後 100 年特集」の抜粋。クラーク博士を主題とする邦文の 209 論文及び補遺 11 点を収録する。原資料の所在情報は無いが、大半が北海道大学附属図書館、同北方資料室収蔵資料。排列は「年譜」「伝記」といったものから「英学史」「クラーク家」「児童書」などのユニークな 17 の分野に分類される。

H289/D

エドウィン・ダンについての掲載記事の文献目録 帯広畜産大学図書館編 帯広 帯広畜産大学図書館 1986 3p 19×26cm

北海道畜産の父と呼ばれるエドウィン・ダンの文献目録。「畜産」「酪農」各文献の他、日本人女性ツルとの結婚にまつわる文献も掲載されている。141 点収録。

H289/F

福士成豊関係文献目録 幕末維新时期における欧米科学技術の摂取について研究班編 札幌 北海道開拓記念館 1986 14p 26cm

福士成豊 (1838 - 1922) は、幕末維新时期の函館において、多くの外国人と交流を持ち、幅広い分野の欧米科学技術の導入に業績を残した。本書は、福士成豊の関係史料を通して欧米科学技術の導入状況を浮かび上がらせることを目的とした調査資料でもある。排列は分野別に「英語の習得と通訳」「気象観測」「新島襄と福士」「日誌」「地図」等の各主題ごとに 313 の文献を収録する。索引、解題なし。

H289/F

福士成豊関係資料調査目録 北海道開拓記念館編 札幌 北海道開拓記念館 1976 36p 26cm

北海道の測量、気象観測事業の上で指導的な役割を果たした福士成豊 (1838 - 1922) に関係する文献目録。北海道開拓の村が旧宅の寄贈を受けた際に、旧宅及び東京の子孫

宅の他、全国各地の大学図書館、資料館、気象台、国土地理院などを対象に調査を行った。巻頭には福士の業績についての高倉新一郎博士による講演記録がある。収録文献資料等は、各調査箇所毎に 358 点が収録され、この他に旧宅の生活用具等 153 点の目録が巻末にまとめられている。年表あり。

H289/Ho

本多新・資料目録 室蘭 室蘭図書館 1971 29p 図版 26cm

市立室蘭図書館が所蔵する自由民権運動家の本多新（1843 - 1914）関係の文献目録。本多は「札幌本道」の開削工事に参加するために来道し、以後室蘭において港湾の発展のため、道路・鉄道の整備に生涯尽力した。また、「国会開設之儀」を建白し、国会の開設運動家としても業績を残している。本書では、「建言書・請願書類」「埋立」「鉄道敷設類」「書簡」等の分野別に 203 点の 1 次文献が収録されている。付録に本多研究著書・論文と題して 17 の参考資料がある。

H289/I

伊能忠敬関係文献目録（未定稿） 高木崇世芝編 札幌 高木崇世芝（印刷・製本） 2002 59p 30cm

子午線の正確な測量と実測測量による「伊能図」作成に半生を捧げた江戸時代の測量家、伊能忠敬（1745 - 1818）に関する文献目録。全国各地の図書館、資料館等を実地調査し、明治 15 年から平成 13 年 12 月に刊行された文献を収録する。前半は単行資料、後半は「図書・雑誌・新聞収録」の記事と論文を 1,040 件収録する。排列は、それぞれを刊行年順に掲載。目録、伝記、研究書、地図等 164 点も収録する。所在情報及び索引なし。

H289/I

伊能忠敬関係文献・資料目録 伊能忠敬生誕 250 年記念 高木崇世芝編 八雲町（渡島）高木崇世芝 1995 10p 19×26cm

明治 15 年頃と推定されるものから平成 7 年までに刊行された 106 点を「伝記」他に 10 に分類し、編年順で収録する。伊能の伝記には児童向け資料が多く見られるため、本書では「伝記（児童）」を別建てで紹介している。索引なし。

H289/Ko

近藤重蔵関係文献目録（未定稿） 高木崇世芝編 名寄 名寄市北国博物館 2000 p29～48 30cm

北方探検家近藤重蔵（1771 - 1829）の文献目録。明治 21 年から平成 11 年にかけて刊行された邦文の単行資料 43 文献と雑誌記事等 324 論文をそれぞれ刊行年順に収録する。索引なし。『北国研究集録』第 4 号別刷。

H289/Ko

越崎宗一先生著作目録 松下巨編 札幌 北海道史研究会 1978 p48～62 26cm

北海道文化奨励賞を受賞した郷土史研究家、越崎宗一（1901 - 1977）の著作目録。研究分野は書画、アイヌ絵、鯨場、産業、郷土小樽、風俗ほか多岐にわたる。収録点数は、単行本 18 点、単行本寄稿・リーフレット 10 点、逐次刊行物 457 点である。逐次刊行物は五十音順の雑誌タイトルごと発表年月日順。索引はなし。『北海道史研究』15・16 号からの別刷。

H289/Ma

間宮林蔵関係文献目録（未定稿） 高木崇世芝編 札幌 高木崇世芝（印刷・製本） 2001
30p 30cm

北方探検・測量家の間宮林蔵（1774 - 1844）に関する明治 25 年から平成 13 年に印刷発表された邦文文献を収録する。全国各地の図書館、資料館等の実地調査によりまとめたもの。排列及び点数は、著作目録、文献目録、展示目録、図録、会報、伝記・研究書、復刻の各分類資料が 66 点。「図書・雑誌・新聞」掲載文献が発表年月日順に 495 点収録されている。索引なし。

H289/Ma

松浦武四郎遺品遺著陳列目録並解説 三重県師範学校編 江別 北海道立図書館 1984
12p 26cm

『東西蝦夷山川地理取調日誌』85 巻、『東西蝦夷山川地理取調図』28 枚を著した北方探検家、松浦武四郎（1818 - 1888）の展示会（遺品・遺著陳列）目録。函館図書館蔵書の複写本。元本の刊行年は昭和 10 年。松浦高麗三氏の蔵品を中心に 49 点を収録する。

H289/Ma

松浦武四郎関係文献目録（未定稿） 高木崇世芝編 名寄 名寄市北国博物館 1998 p35
～62 30cm

北方探検家・松浦武四郎（1818 - 1888）に関する資料を収録する。全国各地の図書館、資料館等の実地調査を行い、明治 21 年から平成 10 年 2 月までに刊行された資料をまとめたもの。排列は著作目録、展示目録、図録、会報・会誌、伝記・研究書、復刻の各分野の単行本資料を 109 点。「図書・雑誌・新聞収録」の文献を発表年月日順に 438 点それぞれ収録する。索引なし。『北国研究収録』第 2 号掲載文の別刷。

H289/Ma

松浦武四郎関係歴史資料目録 松浦武四郎関係歴史資料調査報告書 三雲町（三重県）
三雲町教育委員会 1990 174p 図版 10p 26cm

東京と三重の両松浦家に伝えられる武四郎関係の歴史資料を調査した総合目録。書籍は東京、書簡文書類は三重に多く、研究者からは双方を体系的にまとめた資料調査と目録の作成が望まれていた。本文は、「書籍類」「書簡」「地図類」「その他」に大別され、

各五十音順に排列される。大半が現行字体に改められており、五十音順とともに読みやすい構成になっている。附録として「松浦武四郎著作年表」、「蝦夷屏風書簡・遺芬人名抄録」がある。

H289/Ma

松浦武四郎「刊行本」書誌 高木崇世芝編 札幌 北海道出版企画センター 2001 103p
22cm

松浦武四郎は、膨大な著作を残す一方で数多くの書籍の刊行を行った出版人でもあった。編者は、武四郎の残した刊行本を全国の図書館・資料館を訪ね調査し、72種の刊本を表紙、見返など多くの写真図版とともに見やすくまとめた。排列は、「先人・友人著」「歴史書・画集」「地図・鳥瞰図」「蝦夷地関係」「木版蝦夷日誌」「双六」「小型本」「参考本」の大まかな分類ごとにまとめられ、巻末には、「文苑閣製本目録(播磨屋勝五郎・喜右衛門)」書籍一覧、「〔武四郎年齢対照〕発行年別一覧」、明治中期以降に出版された「活字本」と「複製本」(復刻資料)一覧、「所蔵機関別蔵書一覧」が付される。

H289/Mo

最上徳内関係文献目録(未定稿) 高木崇世芝編 札幌 高木崇世芝 2000 [15p] 30cm

『蝦夷草子』を著した江戸期の北方探検家、最上徳内(1755 - 1836)の関係目録。編者は道内外の図書館、資料館等の実地調査を行い、明治29年から平成11年12月に刊行された資料をまとめた。収録点数は、著作目録、文献目録、展示目録、伝記・研究書、復刻の各資料が42点。「図書・雑誌・新聞収録」文献が230点、それぞれ発表年月日順に排列される。索引なし。

H289/Na

中川五郎治書誌 本邦種痘法の鼻祖 松木明知編著 弘前 松木明知 1998 355p 23cm

長崎より25年も早く種痘術を我が国に持ち込み、実際に松前地方で種痘を行った中川五郎治(1768 - 1848)の研究書。通常の書誌とは異なり、中川研究の手引書を目指したもので、各書誌には研究上の詳細な解題が付く。また、絶版論文の全文再録も積極的に行っている。排列は執筆者の五十音順。索引はないが、目次で一覽可。

H289/Na

中谷宇吉郎著書諸版目録(稿) 1 山崎敏晴編 改訂版 江別 山崎敏晴 2001 27p
30cm

『文献探索 2000』に収録された同名目録の別刷りだが、本文の一部に加筆訂正を施し、巻末には、「著書奥付」「著書帯(カバー)文」「版・刷違いによる作品内容の相違(対照)」の各附録を付け加え「改訂版」としている。収録文献は異版を含む12点58冊を収めている。索引なし。

289/Na

『中谷宇吉郎』に関する所蔵図書調査集計一覧 No.1 北海道編 山崎敏晴編 江別 山崎敏晴 1998 15p 30cm

太田文平著『中谷宇吉郎の生涯』所収の「著書目録」及び大森一彦編「中谷宇吉郎著書目録編纂ノート」(『本の周辺』第11号 東京 新生社 1978刊)所収の文献資料95点について、北海道内の88の公立図書館・文学館の所蔵状況を調査した所在調査の報告書。排列は、各文献ごとに所蔵機関名を列記している。巻末には「図書館別所蔵図書一覧」も付く。

H289/Na

中谷宇吉郎参考文献目録 大森一彦編 加賀 加賀市地域振興事業団 2000 79p 30cm

中谷へのインタビュー、座談会記事等も含む中谷宇吉郎に関する文献目録。東京帝国大学在学中の1924年から歿後37年にあたる1999年までの746点を収録する。排列は発行年月日順。巻末には「中谷宇吉郎略年譜」「著書目録」「『雪』書誌ノート」及び本編の「執筆者名索引」「分類索引」が付く。中谷宇吉郎雪の科学館との共同刊行。

H289/Sa

坂本直行著書及関係文献目録 上田良吉〔著〕〔帯広〕上田良吉 1995 40p 26cm

酪農を営む傍ら四季折々の自然を題材にした著作・絵画を残した坂本直行(1906 - 1982)の文献目録。著書37点の他、詩集『サイロ』、山岳書、文学等に掲載された多数の表紙画、カットも収録する。巻末に「坂本直行年譜」あり。

H289/Sa

坂本亮著作目録 未定稿 谷口一弘編 札幌 北の文庫 2000 62p 21cm

戦前に北海道綴方教育連盟を結成し、戦後は「北海教育評論社」において多数の教育評論・出版を手がけた教育評論家・坂本亮(1907 -)の著作目録。治安維持法下で逮捕・起訴された「北海道綴方教育連盟事件」関係の文献も数多く収録する。排列は編年順。巻末に年譜あり。

H289/Su

菅江真澄研究文献目録稿 磯沼重治〔著〕〔出版地不明〕磯沼重治 1993 p 57~84 22cm

日本海側の諸国を旅し、多数の日記、彩色写生図、和歌、随筆を残した探検家であり民俗研究者でもある菅江真澄(1754 - 1829)の文献目録。本文資料と研究報告に分かれる。江戸末期・明治以降、平成4年10月現在の研究文献を収録する。排列は発表年月日順、索引なし。『芸能文化史』第12号抜刷。

H289/Ta

高倉新一郎博士 最終講義・著作目録・履歴 高倉新一郎博士定年退官記念事業会編〔出版地不明〕高倉新一郎博士定年退官記念事業会 1967 26p 21cm

『北海道史』の総編集長を勤めた北海道史の研究家高倉新一郎（1902 - 1990）の著作目録。北海道大学を定年退官された際に刊行されたもの。「著書」「論文他」「その他（序文・編集・校訂・文化財解説）」の分類ごとに発表年順で263点収録する。巻末に「高倉新一郎先生の履歴」あり。

H289/Ta

高倉新一郎博士著作目録 新聞編 1971 年末現在 藤島隆著 札幌 北海道文化財保護協会 1973 p48～59 21cm

新聞に掲載された著作のみの目録。298 論文を収める。巻末には「アイヌ関係」「大学・教育関係」「北海道の文化・地方史関係」「農業・経済関係」「自伝」「書評等」の「件名索引」がある。『北海道の文化』第27号掲載文の別刷。

H289/Ta

谷沢先生著作目録（未定稿）〔出版地不明〕〔出版者不明〕 1999 [15] p 26cm

歴史研究家・谷沢尚一が1956年から1999年に発表した論文著作195点を発表年月日順に排列する。

290 地理

291 北海道の地理・地誌・紀行

H291/Ho

北海道大百科 詳細ドライブ情報集 ホクレン農業協同組合連合会編 札幌 ホクレン農業協同組合連合会 1984 - 1985 2冊 26cm

ドライブ先の利用を前提に、まちの由来や現勢概要が分かりやすくコメントされている。掲載項目は「自然」「レジャー・公園・スポーツガイド」「文化」「行事」「産業・名産」「喫茶・食事・宿泊」。「文化」では、そのまちを舞台にした文学作品やドラマも紹介。索引なし。排列はブロック別。続編、改訂版なし。「1 北・北海道編」と「2 南・北海道編」の2分冊刊行。

H291/Ka

カントリー・サインマップ まちのシンボル、カントリー・サイン 北海道道路管理技術センター編 札幌 北海道道路管理技術センター 1992 38p 26cm

国道沿いの街の入り口に立つイラスト入りの案内標識「カントリー・サイン」のガイドブック。ユニークなイラストの由来とともに各市町村の概要をわかりやすく紹介する。オールカラー。

H291/Ni

NHKふるさとデータブック 1 東日本編 北海道 NHK情報ネットワーク編著 東京 日本放送出版協会 1992 438p 26cm

NHKが持つ各市町村の「ふるさとデータ」を市販したもの。各市町村、約40項目の

詳細なデータが紹介されている。各市町村へのアンケート調査を元にするが、「名人」「収集家」「出身者（有名人）」「郷土史家」「映像記録者」などの電話連絡先付のユニークな項目もある。また、町を舞台にした歌謡曲・文学作品や、その地で発祥した事物、日本一の事柄なども紹介。改訂版はなし。排列は「市」部と「町村」部別。索引なし。

H291/Ni

昭和維新更生史 国民精神総動員資料 日本合同通信社編 東京 日本合同通信社 1938
1207p 22cm

皇紀二千六百年記念出版。本文は「日本精神史」「日本更生史」「躍進北海道総覧」「更生の北海道」「更生に輝く人材」の5部からなる。「更生の北海道」では、主に市町村および組合・団体の概要を各支庁管内ごとに多数紹介している。「更生に輝く人材」は525名3法人を収録する五十音順の紳士録。一部肖像あり。巻頭目次で一覧可。

291.02 史跡および名勝

H291.02/A

函館のいしぶみ 相沢勝三郎著 函館 道南の歴史研究協議会 1974 158p 21cm

幕末、明治、大正、昭和、戦後と時代ごとに分け、歴史に名を残した人々の記念碑や墓、歌碑・句碑、慰霊碑、塔などを、写真と解説で紹介し、函館の歴史をたどる。巻頭に分布図あり。

H291.02/B

美唄の碑 美唄市教育委員会社会教育課編 美唄 美唄市教育委員会 1980 64p 26cm

明治時代から今日までに建立された碑で、現在までに確認された信仰・慰霊・記念・顕彰・句碑など154碑を収録。写真、写真説明、碑文の刻字、巻末に石碑簿（年代順）を収録。折り込み図1枚。

H291.02/D

道南の碑 北海道道南における碑碣・墓銘の研究 永田青雲著 函館 幻洋社 1996
350p 23cm

石碑に彫られた漢文による碑文の研究書。実地調査に基づき、拓本とともに紹介する。構成は、全景、碑面の写真と建立の背景、碑文の訓読・解釈が掲載されている。人物（顕彰）、事象に関するものが多いため、人物探索資料としても有用である。収録数は100基。時代順に排列。

H291.02/E

石碑石仏 えりも町郷土資料館ほろいずみ〔編〕 えりも町（日高） えりも町教育委員会
2000 18p 21×30cm（えりも町ふるさと再発見シリーズ 2）

昭和20年以前に建立されたえりも町の石碑・石仏71を古い順に掲載し、所在情報や由来を掲載。馬産地だったので馬頭観音はすべて収録。全冊カラー写真。

H291.02/I

石狩川の碑 石狩川振興財団編 札幌 石狩川振興財団 1996 201p 31cm

大雪山系を源に北海道の開拓と発展を担ってきた大河沿いに残る 176 の碑を収録する。内容は「治水」「ダム・貯水池」「運河・導水・頭首工」「文学」「敬水・親水・史跡」「渡船」の各項目ごとに順不同で収録する。オールカラー。各碑ごとに地形図を用いた位置図がある。巻末に掲載碑の一覧表がある。

H291.02/I

石狩湾に沿っての明治百年の旧跡 未完のノートから 長谷川嗣著 [石狩町(石狩)] 石狩町郷土研究会 [1973] 16p 26cm

町内の旧跡を巡り、明治百年の入殖の歴史をたどる。入殖者の名前も一部紹介。

H291.02/Ka

当別の歴史を刻む碑(いしづみ) 鍛冶俊幸著 当別町(石狩) 鍛冶俊幸 1990 57p 26cm

明治4年に始めて開拓の鋤が入れられてからの先人の苦勞を偲ぶとともに、それらの人々の功績を称え、長く後世に伝えるべく「碑」を建てた。開基百二十年に当たる年に町内にある97の碑・塔などを写真・碑文・解説等で紹介。

H291.02/Ki

開拓記念碑集 北見開基八十年市制施行三十五年記念 北見市立北見郷土博物館編 北見市開基80年市制施行35年記念祭委員会 1977 36p 26cm

北見市開拓の礎を築いた屯田兵、北光社移民団として入殖した人々を始め、それぞれの分野で活躍した人々の碑や銅像を中心に大隊本部跡等の所在を示す碑を写真集録し、その碑文を集大成、26碑を紹介。巻末に碑文と所在位置図を付す。

H291.02/Mo

紋別石碑散歩 紋別郷土誌研究会著 長尾守編 紋別 紋別郷土誌研究会 1980 138p 図版 18cm (紋別郷土誌研究会「郷土誌」No.6)

市内の石碑のうち42点の石碑名、写真、所在地、建立年月日、建立者、高さ、碑文および解説。

H291.02/Mo

森の史跡と碑・石仏 風雪に耐える無言の語りべ 森地方史研究会編 森町(渡島) 森地方史研究会 1981 67p 26cm

町制施行六十周年記念出版。郷土史家らによってまとめられた。収録遺跡は、記念碑だけでなく、遺跡を示す立て看板、石仏・地蔵尊までバラエティ豊かである。所在地、設置年月日、碑文を全景写真とともに紹介する。収録点数は、記念碑・顕彰碑類が63基。巻末には、三十三番札所観世音菩薩(33体と2碑)、地蔵菩薩と諸仏(19体)、馬頭観世

音(19基) こま犬(9対)の写真がまとめて紹介されている。索引は無いが、巻末に収録石碑の所在地の略図(2頁)がある。

H291.02/Na

ななえの碑 七飯町の史跡 七飯町教育委員会〔編〕 七飯町(渡島) 七飯町 [1977]
58p 21cm

七飯町内の史跡 57ヵ所の場所・由来等を写真付きで簡単に紹介。巻末に分布図あり。

H291.02/Sh

標茶の石碑 標茶町郷土史研究会編 標茶町(釧路) 標茶町郷土史研究会 1991 80p
26 cm

「酪農開拓之碑」(虹別)、「馬頭観世音菩薩」(上茶安別)、「犬魂碑」(標茶)など 83
碑の紹介。所在地、建立年月日、建立者、碑の総高、碑文、写真を記す。

H291.02/Sh

白滝村の碑集 白滝村(網走) 白滝村教育委員会 1980 60p 26cm

村内にある 36 基の石碑を収めた碑集。収録は順不同。記念碑、慰霊碑、馬頭観音、
神社・地蔵等が収められている。索引は無いが、設置箇所が分かる村内管内図が巻頭に
付く。

H291.02/Sh

史跡が語る江別の歩み 江別市教育委員会編 江別 江別市教育委員会 2001 133p 21cm
(江別歴史ガイドブックシリーズ 1)

江別市内にある史跡・記念碑等 178ヵ所の歴史ポイントを地域ごとに紹介。建立年・
碑文等を写真付きで掲載。地図に所在地も記してある。巻末に五十音順の索引あり。

H291.02/Su

石碑石仏を訪ねて 歌志内・歴史の散歩道 杉山四郎著 石巻隆四写真 4 訂版 歌志内
歌志内歴史資料収集・保存会 1994 95p 26cm

開基 100 周年・市制施行 40 周年(1997 年)の記念をめざして発刊。巻末に石碑・石
仏の分布図(石碑 39 基、石仏 8 体)あり。増補版(62p 19cm 1984 刊) 増補改訂版
(70p 19cm 1986 刊)もあり。

H291.02/Ta

たきかわの石碑 滝川市教育委員会編 滝川 滝川市教育委員会 1994 208p 20cm

市内に多く残されている屯田兵の苦闘のあとをしのぶ記念碑や作業の安全と豊作を
祈って建てられた田畑の地神・水神の碑、馬頭観音などの開拓に関する碑をまとめた。
巻末に滝川歴史年表あり。

H291.02/Ta

端野町の石碑 鷺見文夫，伊藤公平著 端野町（網走） 端野町立歴史民俗資料館 1993
128p 26cm（資料館シリーズ no.5）

町内の 99 の石碑を地域ごとに排列。巻頭に一覧表があり、石碑名、所在地、建立年月日が分かる。本文では碑文や由来、写真等も掲載。巻末に石碑所在図。

H291.02/To

とまこまいの石碑（いしぶみ） 高橋稔著 苫小牧 苫小牧郷土文化研究会 2001 259p
21cm

苫小牧を 7 つの地区に分け、石碑・モニュメント等を写真付きで紹介。石碑名・所在地・建立年月日・大きさ・碑文等を掲載。

H291.02/Y

八雲町の石碑と像 高木崇世芝編 札幌 高木崇世芝 2001 35p 26×36cm

八雲町にある石碑と像、101 基について、石碑名、建立年月、所在を明記し、明治期・大正期・昭和前期など年代順に並べた一覧。本文も年代別に排列し、すべてカラー写真が付く。その碑の表面・背面の記載事項、碑の高さも記載されている。また、「地域別一覧」を付け、探しやすいように配慮されている。

H291.02/Y

由仁町の記念碑 資料第 1 集 由仁町郷土資料研究会〔編〕 由仁町（空知） 由仁町郷土資料研究会 1989 114p 26cm

銅像・記念碑・頌徳碑・ブロンズ像に大別し、高 - 低・古 - 新の順に排列。所在地・建設の趣意・建立者・建立（移設）年月日・構造・題額・碑文等とともに写真を掲載。附録に開拓者の略年譜あり。現在第 1 集のみ刊行。

291.03 参考図書（書誌・辞典・地名辞典）

H291.03/Ha

地名読例 全 長谷川玄竜編 大阪 梅原亀七 1978 19丁 13×18cm

明治 11 年当時の北海道、11 国 89 郡の名称すべてにルビを振り読みを明らかにしたものの。各郡ごとそこに所在する港、岬、岳、山、川、沼等の名称もルビ付きで記載されている。複写本。

H291.03/Ho

北海道道路料程表 北海道道路整備促進協会編 札幌 北海道道路整備促進協会 1979 1冊 26cm

昭和 45 年 2 月 17 日北海道告示第 365 号による北海道道路料程表を改定（昭和 54 年 10 月 19 日北海道告示第 3438 号）したもの。

各支庁別に、国道、道道を幹線として、市道以下を各市町村ごとに編集し、短距離の

幹線道路は、市町村欄に一括登載した。各支庁ごとに管内図が添付され、各路線の連絡系統、市町村の索引を容易に判明できるようになっている。

H291.03/Ho

角川日本地名大辞典 1 北海道 上・下巻 「角川日本地名大辞典」編纂委員会編 東京
角川書店 1987 2冊 23cm

本書においてはアイヌ語にかかわる貴重な研究を土台として極力その成果を紹介することに努力をする一方、2万2千に及ぶ各項目の解説を、後代に永く利用されうる正確さをこころがけた。全道の地名を五十音順排列した上巻(地名編)と、市部・区部と各支庁管内ごと町村別に解説した下巻(総説編・地誌編・資料編)の2分冊。

上巻巻頭には地名用語、難読地名索引、下巻巻末資料編には、行政沿革表、「アイヌ語地名の話」(山田秀三) 北方四島地名および関係図、北海道団体移住一覧、参考地図(地形区分概要図など9図) 北海道参考図書目録(1377~1405p)がある。

H291.03/O

日本地誌略字引 巻之四 岡谷義一編 東京 星野松蔵 1877 28丁 12cm

明治10年刊行の和綴本で豆本。北海道十一國それぞれの國の郡名、山名、川名、地名、言語などの読みをルビ入りで記載している。

『改正日本地誌略字引 北海道・柯太洲・琉球国之物』(19cm 31丁 東京書林刊 1876)もあり。

H291.03/Sh

大雪山文献書誌 第1~4巻 清水敏一著 岩見沢 清水敏一 1987 - 1993 4冊 22cm

全4巻からなる大雪山に関する文献資料集。収録文献は4冊で155点にのぼる。各冊とも、文献の内容・性質・刊行形態により「大雪山の本さまざま」「雑誌・部会報にみる大雪山」「百山選書にみる大雪山」「案内書にみる大雪山」という4章に大別し、原則として各章ごとに発行年月順に排列する。各文献について連番で文献番号を付し、書名・著者名・発行日・判型・発行所と表紙の写真を掲載。各文献の目次や雑誌の発行一覧、山岳会についてなど、詳細に記述してある。

各巻とも巻末に「掲載文献資料一覧」と五十音順の「人名索引」を付す。また、4巻には、年代順の掲載総目録と、写真集・画集、遭難報告書、自然・動植物といった分類別の掲載総目録を収録する。

H291.03/Y

大日本地名辞書 続編 吉田東伍著 東京 富山房 1909 1冊 26cm

蝦夷(北海道、千島、樺太) 琉球、台湾の三区分別を収め、それぞれに索引(五十音編、頭字画引編)を付す。北海道については、渡島国・後志国をはじめ10国を各郡別に解説し、さらに千島国の各島ごとに分ける。樺太は5支庁区別にし、附録として露領に

ついても記す。本書のために作成されたものではないが、北海道・千島については 20 万分の 1 地図 4 面を掲載する。

1970 年刊の増補版の再版（1972 年刊）も所蔵。地図は千島・樺太の 4 面のみを収録。

H291.034/A

北海道地名の旅 アイヌ語地名解 赤木三兵著 豊浦町(胆振) 山音文学会 1971 150p
19cm

『朝日新聞』昭和 40 年 9 月 1 日から連載の「地名の旅」5 か年 1,000 回分に、さらに 200 余を加えて編纂した。

北海道の地名の殆どは、古いアイヌ語地名が主体になっており、永い年月の間に意識、音訳、転化などいろいろの変遷を経て現在に至っているが、極力その源に溯り調査解説し、地名の由来だけでなく、簡単な風土記も添えてある。排列は地名の五十音順。

H291.034/E

蝦夷地名解 [製作地不明] [製作者不明] [製作年不明] 1冊 16cm

蝦夷地であった頃の北海道の地名についての解題。北海道総務部行政資料室所蔵本の複写本。

H291.034/F

増毛地方地名解 藤島範孝著 増毛町(留萌) 藤島範孝 1974 p54~139 22cm

増毛町とその周辺に包蔵される地名数(和名を含む)150 ほどを解明したもの。地区別に区分し、各地区の地図を加え、地図中の地名ナンバーは説明文のナンバーと合致させてあり、対照することができる。『増毛町史』別刷。

H291.034/Ha

函館地名考 函館市教育委員会社会教育課編 函館 函館市教育委員会 [出版年不明]
33p 25cm(函館市社会教育資料 第3集)

郷土「函館」を理解する資料として刊行されたもの。函館の町名が五十音順に列記され解説されている。五十音順の索引あり。附録として五十音順で橋名を記載。巻末に地名考補遺と橋名の補遺がある。

H291.034/Hi

樺太の地名 葛西猛千代〔ほか〕著 豊原町(樺太) 樺太郷土会 1930 234p 19cm(樺太文献叢書 第1)

樺太の地名は、主にアイヌ語が基礎となって命名されている。その地名のアイヌ語を解釈して意義を明らかにしたものが本書である。解説の地名は、五十音順に排列してある。巻末の p213~234 に「樺太島新旧地名」あり。附として地図「樺太全図」1 枚あり。

復刻版(第一書房 1982 年刊 20cm)もあり。

H291.034/Hi

郷土地名の起源 平元直嘉著 〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕 12p 22cm
まず北海道の地名の起源を概観し、地名に多いアイヌ語とその意義、各地名の起源について記す。各地名の起源は、「札幌及び環札幌地域」「市及び主要な町」「支庁 附国」「主要な景勝地」と細分化され、各地名に対して原名とその意義が記される。『拓殖途上にある我等の北海道』附録。

H291.034/Ho

北海道地名分類字典 本多貢著 札幌 北海道新聞社 1999 461p 22cm

町名・字名・山・川等を含めた北海道の地名を、アイヌ語から由来したもの、本州各地の“ふるさと”から名づけたもの、特定の個人名を拝借したもの、縁起かつぎや“あやかり”で名づけたもの、カタカナ、ひらがなで書き表したものと起源によって5分類し、成立過程を比べたもの。排列は各分類ごとに読みの五十音順。巻末資料に「アイヌ語の表記法」「地名研究者リスト」がある。索引は漢字からも引けるよう工夫し、また、音読みから目的の地名を探せるようになっている。

H291.034/Ho

北海道地名漢字解 本多貢著 札幌 北海道新聞社 1995 218p 20cm

全国にも類例のない漢字引の地名漢字解である。明治以降、北海道に関わりあってきた人々の人名を地名化したものや、北海道に移住した人々の故郷が地名化したものをあわせてとり上げている。「漢字引」という新しい試みによりどの地方の人々が関わりあってきたのかが、地名を通して把握できる。巻末に、地名読みの五十音順による総索引を付す。

H291.034/Ho

北海道地名の呼び方 放送文化研究所, 札幌中央放送局編 東京 日本放送協会 1952 122p 21cm

放送に使われる地名を正しく呼ぶことに努力する日本放送協会が、難解な呼び方のものや、複雑な由来を持つ北海道の地名の呼び方を統一する目的で編集した。本文の排列は市町村ごとに地名読みの訓令式ローマ字のアルファベット順。巻頭に「支庁別索引」と市町村名漢字表記の「画別索引」を、巻末にアイヌ語の地名用語や主要な河川・山岳・駅名を付す。

H291.034/Ho

苫小牧地方地名集 堀江敏夫編著 苫小牧 苫小牧地方史研究会 1967 70p 21cm (苫小牧地方史研究叢書 第1集)

駅名、地名・地域名、山・川・湖沼、の3部に分け、それぞれについて解説する。排列は順不同。さらに、苫小牧地方で身近なハスカップ、チップ(姫鱒)、シシャモについても記す。「アイヌ語地名単語集」は、地名を構成する個々の単語を五十音順に列記し、

その意味や用法を把握できるように附記した。巻末に、五十音順の地名索引と「苫小牧地方地名図」がある。

H291.034/I

厚真の旧地名を尋ねて 池田実, 亀井喜久太郎共著 厚真町(胆振) 亀井喜久太郎 1976
57p 26cm

「蝦夷国全図」(林子平)など古地図から「厚真町地名図」(昭和50年12月)までの7葉の地名図をもとにしながら、地名図をたどるように海岸と厚真を流れる8つの川筋に沿って、それまでの地名文献を絡めて136の地名を詳しく解説する。巻末に、参考文献として引用図書と引用地図類の一覧あり。また、厚真町の旧地名については、『厚真村史』(昭和31年刊)に詳しい。

H291.034/I

北海道地名解 磯部精一著 東京 富貴堂 1918 168p 19cm

主にアイヌ語から由来する地名を挙げて、その原語を解説したもの。『英文アイヌ語辞典』(ジョン・バチラー著)、『北海道蝦夷語地名解』(永田方正著)、『大日本地名辞書』(吉田東伍著)の三書を、解説の部分の参考とする。「国名」「郡名」と、郡別に村・字・川・山・湖・岬等について記す「各説」の3部構成。付録として「アイヌの風俗及び伝説」「アイヌの人口別」「アイヌ語と日本語の比較」「地名に最も多く現れる語の解釈」「本土の地名考」がある。

H291.034/I

北海道市町村名の起源 維新堂書房編 札幌 維新堂書房 1936 33p 19cm

『北海道地名解』(磯部精一著)、『アイヌ語辞典』(ジョン・バチラー著)、『蝦夷語地名解』(永田方正著)、『大日本地名辞書』(吉田東伍著)各地の町村勢要覧、『駅名の起源』(札幌鉄道局)の文献を参考に、自己の研究も付加して編纂したもの。7市と14支庁管内各町村の地名のほか、「地名解釈用アイヌ語」と、山岳・川・湖についてのアイヌ語地名の解説がある。

H291.034/Ka

択捉島地名探索行 北方風土記 鹿能辰雄著 札幌 みやま書房 1976 284p 22cm

択捉島の沿革、島の紹介、里程表、各地図記載地名一覧表、各地図に載っている国後・択捉両島の山岳の標高、地名探索では択捉海峡からオホーツク海沿岸を南下し、19地域のアイヌ語地名を解説。地名索引、参考文献あり。陸地測量部・松浦図にある地名索引も別記。択捉島全図を付す。

『北海道史研究』第5号～第8号(1974-1975)掲載の別刷もある。

H291.034/Ka

池田町地名考 川村重雄著 池田町(十勝) 川村重雄 1963 39p 21cm

池田、高島、大曲等の和名は古いアイヌ語地名の上に冠せられたもので、戦後、町村合併や、言語、文字の民主化により、忘れられた地名なども多いが極力収録した。五十音順に排列。参考文献の一覧あり。

H291.034/Ka

改正字名現在地番調書 〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕 1冊 26cm

室蘭市内の改正字名呼称(旧大字名・区域・改正字名・旧小字名) 字名改正付表(改正字名・理由)、輪西村外二ヶ村ニ於ケル改正字名区域ニ対シ昭和二年十二月末現在ニ依ル戸数人口表、字名及区域、その他各町ごとの旧字名・旧地番・地目を表示。

H291.034/Ko

北海道地名解 小林成光著 苫小牧 小林経営研究所 1983 293p 19cm

第1章から第11章までをそれぞれ北海道、国(支庁)郡、市、町村、山、川、岬、湖・沼、湾、島の項目で地名の解説をする。

H291.034/Mu

むろらん地名散歩 岩瀬義明著 室蘭 岩瀬義明 [1997] 42p 26cm

室蘭市内の地名のいわれ等、昭和56年から60年まで室蘭防火管理者協議会会報に掲載したものをコピーし、1冊にまとめたもの。

H291.034/Na

北海道蝦夷語地名解 永田方正著 札幌 北海道庁 1891 1冊 19cm

アイヌ語が生活に生きていた明治初期の北海道をくまなく巡回調査し、アイヌの古老に聞き、八年の歳月をかけて完成した北海道地名集成の最高の辞典。巻頭で、国名・郡名を解説。本編地名解も国郡別に編集。アイヌ語地名をアルファベットとカタカナで表記し、日本語訳を記す。初版。

当館にはこのほか、再版(北海道協会支部 1908)、第4版(北海道連合教育会 1927)、同復刻版(国書刊行会 1972)、初版の復刻版(草風館 1984)を所蔵する。

第4版にはアイヌ地名考を附す。また、初版の復刻版には詳細な索引を附して使いやすくした。収める地名約6000。

H291.034/Na

永田方正第4版『北海道蝦夷語地名解』分類 杵渕祐二編 札幌 アイヌ文化に親しむ会 1989 185,8p 26×36cm

『地名解』に掲載された地名を五十音別に排列し、さらに原本に記載の「訳」を附した。これにより、ある地名と同じものが道内に他にいいのか、あるとすればどこの地名か、そこでは永田方正はどんな解釈を試みているのかが一目で分かる。

北海道立図書館
北方資料参考図書解説目録 3
《 歴史・地理 》

122p 26cm

羅臼町（知床半島東南部）内のアイヌ語系の地名を解明し、地元に住む人々の理解のために作成された。羅臼町の地名とその移りかわり、羅臼町の地名の変化表（寛政9年・蝦夷巡覧筆記から昭和44年北海道河川一覧の資料より）、羅臼町の地名の解説比較表、地名と現状、地名よりみたアイヌ人の生活、まとめには参考にした書物の一覧を掲載。五十音順索引と付図1枚あり。『羅臼町郷土研究会研究報告 1（草稿）』（1974刊）もあり。

H291.034/R

留辺蘂の地名 伊藤公平著 留辺蘂町（網走） 留辺蘂町郷土研究会 1998 153,29p
21cm

巻頭に河川図あり。地名を広域行政地名、字・行政区名、通称・俗称・施設地名、山と峠、川と沢、アイヌ語地名に6区分し、それぞれ五十音順排列で解説。地名にはルビを付けている。巻末に参考文献・五十音順索引、資料として町内の道路・河川・橋梁・踏切などの一覧を付す。

H291.034/Sa

北海道地名小辞典 三省堂編集所編 東京 三省堂 1978 228,13p 15cm

『コンサイス地名辞典 日本編』を土台に、項目数を増やし北海道の魅力を掘り出すための手掛かりになるように、と編集された。旅行の折に地図とともに携帯できる辞典。北方領土を含む地名約1800項目を五十音順に排列。巻末付録に、市区役所・町村役場一覧、史跡・名勝・天然記念物一覧、ユースホステル一覧、市町村区画図がある。

H291.034/Sa

札幌地名考 上・下 札幌市教育委員会編 札幌 太陽 1982 2冊 15cm（くまブックス「さっぽろ」シリーズ）

上巻にはさっぽろ地名説（更科源蔵）各区（7区）の町名の由来等、下巻には通り、山・峠、河川・湖沼・滝の地名解説を収める。各巻に参考文献を、下巻には総合の索引と、全道の市および近隣町村の地名考を付す。

H291.034/Se

戦後サハリンにおける集落の改称について 資料研究 松井憲明著 旭川 旭川大学 1994 p91～114 26cm

第二次大戦後の集落地名の改称の経緯を述べた後、地域ごとに日本語地名とロシア語地名を対照させた一覧を掲載。日本名にはフリガナ、ロシア名にはカナヨミ、ロシア語綴りと翻字を併記。「現在集落なし」等の注を付す。『旭川大学紀要』第39号抜刷。

H291.034/Sh

地名探訪しゃり 斜里町（網走） 斜里町立知床博物館 1986 47p 17×17cm（郷土学習

シリーズ 第8集)

アイヌ語地名を訪ねてと題し、地域ごとに順を追って意味や由来をたどる。また時代を三分し、地名の変遷にも触れる。106 地名収録。図版多数。巻末に索引を付す。

H291.034/Ta

端野町の和地名 伊藤公平著・絵 端野町立歴史民俗資料館編 端野町(網走) 端野町立歴史民俗資料館 1994 85p 26cm(資料館シリーズ no.3)

地名を五十音順に排列し、比較的詳しく解説。駅通や学校、団地、三角測量点などは項目として起こし、その中で各々の歴史的経緯や特徴を記す。道路や橋、建造物などの名称も含む。目次が五十音順索引。

H291.034/To

北海道地名一覧 栃木義正〔著〕 札幌 栃木義正 1986 201p 19cm

昭和60年入手の「5万分の1地形図」(国土地理院)と「北海道市町村行政区画便覧」(北海道自治振興センター 1984)から集落地名をすべて抜き出し、五十音順に排列。所在市町村名、前記便覧上の記載の有無、地名ヨミ、地形図の図名と位置、全部ではないが語源とその出典を記す。自然地名は割愛。巻末に漢字画数索引。

H291.034/To

北海道の地名索引 五万分一地形図による 栃木義正著 札幌 栃木義正 1975 123p 26cm

昭和48年入手の「5万分の1地形図」(国土地理院)から自然地名、行政区画による市町村名、地域名、町名、集落名をすべて集録。五十音順に排列し、地形図の図名と位置を記す。タイプ印刷。巻末に使用した地形図一覧あり。

H291.034/To

北海道集落地名地理 栃木義正著 札幌 栃木義正 1992 567p 21cm

昭和60年頃の行政地名および「5万分の1地形図」(国土地理院)から集落名称をすべて抽出し、その起源から分類。読み方、所在地、解説、参考文献番号(参考文献 p466~476)を列記。巻末の五十音順索引にも読み方と所在地を付記している。

H291.034/To

三笠の地名 供野外吉編 三笠 三笠文化協会 1975 74p 19cm

地名考と字名改正について簡単に触れる。地名解は幾春別川左岸・右岸に大別し、読み方と解説。地名研究に欠かせない幾春別川の流れの変遷についても、旧河川図(8枚)を添付。

H291.034/Y

北海道の地名 山田秀三著 札幌 北海道新聞社 1984 586p 22cm

アイヌ語地名研究の第一人者による地名解。30余年の現地踏査と旧記・旧図を基とす

る。地名は、北海道の海岸を、石狩川の川口から時計回りの順に並べ、内陸部は原則として川筋を川口から上流に向かう順で排列。2000 余項目を集録。『山田秀三著作集』別巻（草風館 2000 7.29/Y/5）は本書第 5 刷の復刻版で、明らかな誤記のみ訂正している。

H291.034/Y

十勝地名解 〔安田巖城著〕 十勝教育会編 帯広町（十勝） 十勝教育会 1914 454p
26cm

語源調査の必要性和小学校教授用として十勝教育会が、管内各学校長に当該学校所在地付近の地名の調査報告を依頼し、アイヌ語に精通した安田氏が解説したもの。自治体ごとに排列。複写本。

H291.034/Z

樺太千島露日地名対照表 全国樺太連盟編 〔出版地不明〕 全国樺太連盟 〔出版年不明〕 1冊 26cm

旧南北両樺太および千島列島を含むサハリン全州の新旧主要地名を集め、ロシア語と日本語の対照表にし、所在地などの注記を付したもの。見出し語のロシア語は翻字してアルファベット順に排列。山、川、集落など地名の種類も補記している。終戦後ロシア語地名に改正されたものを理解する一助となる。謄写版、未定稿。

H291.035/Ho/M36

北海道里程表 〔明治 36 年〕 〔札幌区〕 〔北海道庁第六部〕 〔1903〕 43p 16cm

道内区町村字間の公認里程を編纂したもの。道路は札幌を始めとし各支庁ごとに掲載。里程と累計を併記。鉄道は炭砒鉄道・官設鉄道など所管ごと。水路里程は函館・小樽両港を起点とするもののほかに、石狩川航路や道外・海外の主要港までの距離も掲載。巻頭に目録、札幌から各支庁所在地までの最短里程、国道全長並主要町村間里程の一覧あり。附図（北海道全図）により地点間の連絡系統の確認も可。明治 43 年刊行の改訂版も所蔵。

H291.035/Ho

北海道里程表 昭和 18 年 1 月 1 日改正 北海道庁〔編〕 札幌 北海道庁 1943 619p
19×26cm

各支庁別に国道・地方費道・準地方費道を幹線として、市道以下を市町村ごとに元標を基準に編纂。支庁ごとに管内図を付し、各路線の連絡系統や索引ページ数が分かる。里町間と Km を併記。鉄道、水路は含まず。巻頭の総目次は支庁名、支庁ごとの目次は市町村名。

H291.035/Ho

改正北海道海陸里程表 北海道庁〔編〕 札幌 北海道庁 〔1898〕 21p 38cm

明治 31 年 10 月調整の全道の主要道路およびその近傍の里程表。国後、択捉も含む。また、炭鉱鉄道・官設鉄道哩程、海路哩程（道内および道外の主要港間）も収録。目次はあるが凡例や解説は一切ない。事務用と思われるが、明治 35 年 12 月の滝川・土別間の鉄道哩程と、明治 34 年 12 月の砂川・土別間と旭川・落合間の鉄道時刻表が貼込まれている。

H291.035/Ta

北海道郡区改正町村里程名録 田最上藤五編 函館 魁文社 1884 159p 14cm

郡区別に編纂。町村名はすべてルビ付き。三県郡区役所里程一覧や航海里程なども収録。

H291.038/Ho

北海道関係地図・図類目録 北方地域図および日本図等も含む 北海道大学附属図書館所蔵 北海道大学附属図書館編 札幌 北海道大学附属図書館 1981 359p 26cm

附属図書館北方資料室所蔵の地図・図類を地域によって分類し、その中は刊行（または成立）年順に排列。図名、著编者といった書誌的事項のほかに、註や内容を付記したものが多く、非常に参考になる。開拓使時代の地図や建築図面、アイヌ絵等の絵画や書軸、地形図なども含まれている。巻末に図名索引、著编者索引を付す。北大のホームページ（北方資料データベース）でも検索可。

H291.038/Ho

「札幌地図史」展示目録 北海道立図書館編 江別 北海道立図書館 1972 1冊 26cm

当室所蔵の札幌の地図のうち 24 点を、ほぼ年代順に排列し解説したもの。謄写印刷。

H291.038/Ko

古地図にみる北海道 平成 12 年度特別企画展 市立函館博物館編 函館 市立函館博物館 2000 1冊 26cm

古地図の変遷から北海道の歴史をたどる企画展の解説目録。古地図研究者である高木崇世芝氏の所蔵品を中心に 37 枚を丁寧に解説。所蔵品については高木氏自ら執筆。巻末に、蝦夷地場所関係図あり。

H291.038/Ko

国土地理院発行地図索引図 東京 国土地理院（製作）〔1989〕 73p 45cm

地図上に 2.5 万分の 1 および 5 万分の 1 地形図、20 万分の 1 地勢図の図郭線と図名が印刷されており、一目で必要な図名を探し出せる索引図。また市町村名や、主な山名・湖沼名から検索できる索引もある。

H291.038/To

東西蝦夷山川地理取調図地名索引 菊地清光〔著〕〔横浜〕〔菊地清光〕〔1990〕 1冊 19×26cm

「東西蝦夷山川地理取調図」(松浦武四郎 安政6)の復刻版(草風館)の中の地名を五十音順に排列。地形を表す記号と、地図上の位置を記載。地名数は1万を超える。

H291.038/Z/H13

図名便覧 全国都道府県市区町村別国土地理院刊行一般図 平成13年版 国土地理院編
東京 地図協会 2001 423p 30cm (国土地理院技術資料A・1-No.232)

平成13年2月1日現在の地形図・地勢図を対象に、都道府県および支庁別、特別区・指定都市別、市区町村別にそれぞれ関係図名一覧を掲載。行政コード順に排列。内容は、20万分1図名、号数、5万分1地形図名、2.5万分1地形図名。市区町村別索引と関係図葉数一覧(五十音順)もあり。国土地理院発行の同書を地図協会が複製発行したもの。

H291.038/Z

図名索引 1万分1地形図・2.5万分1地形図・5万分1地形図・20万分1地勢図〔東京〕
日本地図センター〔1997〕209p 15×21cm

1万分1地形図、2.5万分1地形図、5万分1地形図、20万分1地勢図それぞれに、図名を五十音順に排列し、必要な図葉にたどりつけるようになっている。付録に2.5万分1地形図の難読図名索引(画数順) 全国著名地索引(五十音順で関係図名対照) 代表的地形一覧がある。平成9年4月1日現在の内容。

一般 454.91/G

5万分1地形図作成・所蔵目録 国土地理院所蔵地図・地理史料目録 2 国土地理院地図部〔著〕
つくば 国土地理院 1997 418p 31cm (国土地理院技術資料 E・1-No.245)

明治23年に5万分の1地形図が国土の基本図と定められて以来、陸地測量部から国土地理院まで継続刊行してきた同地形図の総目録。北方から、100万分の1国際図基準の記号・番号順に排列。項目は、1:20万図所属図名、番号、図歴、色数、発行日、図式、備考。

一般資料ではあるが、当室では全道分の地形図を収集しているので参考になる。

H291.04/Mo

北海道物語 さわやかな旅へ、全道212市町村歴訪紀行。 森敬著 札幌 札幌ペンクラブ 1989 596p 22cm

支庁ごとに全道212市町村を概観できる。見開き2ページで1自治体。読物風に町の歴史や産業・文化を紹介。共通項目で行政所在地、開基・人口、まちの木・花、観光・みやげ品、イベントを採録。巻末に五十音順の市町村名索引を付す。

H291.08/F

北海道拓殖写真帖 開道五十年記念 深谷吾市著 札幌区 福田喜代治〔1918?〕1冊
23×31cm

巻頭には歴代の開拓使および北海道庁長官の肖像。本編は全道各地の官公庁、学校、社寺、商工その他主要団体の建造物や事業（営業）風景等の写真。所在地、屋号、名称、創業年、代表者、出身、渡道年、事業概要なども付記（記述には精粗あり）。

H291.09/Ta

北海道案内 高橋理一郎編 札幌 地方振興事績調査会 1924 576p 12×20cm

視察観光案内および産業その他各般の調査研究資料として、鉄道沿線各駅を中心に主要町村の状況を記す。地名には語源を付記。銀行、会社などの概要もあり。樺太も含む。巻末に各界の名士録を収録。3版（1927年刊）、4版（1929年刊）、7版（1938年刊）も所蔵。

H291.09/Y

案内 開道五十年記念北海道博覧会・札幌小樽案内 安岡北洲編 札幌区 安岡北洲 1918 117p 19cm

道政の枢府札幌と経済の中心小樽の発展の経過と現況を紹介。各区勢、沿革、行政、産業、文化などを概説。各種団体名鑑、人名録の要素もあり。

291.1 北見・網走地方

H291.15/Ki

北見之富源 貴田国平（百川）編 網走町（網走）北見実業新聞社 1912 436p 図版 22cm

網走管内の各町村勢・統計などのほか、官公庁・学校・商工その他各種団体の概要や名士の紹介（肖像あり）等も含む。

291.2 根室・釧路地方

H291.2/Sa

釧路根北写真帖 第1巻 佐藤正平編 釧路 釧路活版所 1914 1冊 18×26cm

釧路・十勝・根室・北見の4ヶ国の拓殖事業を地域別に紹介する写真帖。農園・牧場風景などのほか、工場、庁舎、商店など主要建造物の外観写真と名称・所在地・代表者、また実業家を肖像とともに掲載。

H291.25/Ko

北海道釧路国便覧 国進社編 東京 国進社 1907 250p 図版 20cm

釧路管内各町村の現勢のほか、銀行・会社・商店・工場・実業家などの紹介あり。

291.3 十勝地方

H291.32/To

帯広市大観 十勝毎日新聞社編 帯広 十勝毎日新聞社 1963 1冊 27×38cm

帯広市開基80年・市制30年・本紙創刊45年・紙齢1万号記念の写真帳。巻頭に懐

かしい町並み・風景写真等を配し、本編は刊行当時の官公庁、学校、商工など各種団体の建物外観や事業風景に名称、所在地、屋号、代表者の肖像（一部略歴あり）、事業概要等を付記。

291.4 上川・留萌地方

H291.421/A

旭川風景写真帖 一名旭川案内 有泉長太郎著 旭川区 有泉長太郎 1915 1冊 20×27cm

街並みのほか、官公庁・会社・商店など主要な建物の外観と名称・所在地を案内。注記は一切ない。巻末に芸妓名鑑を付す。

H291.421/Ki

最近の旭川 北郷文二郎編 旭川町（上川） 弘文堂書店 1910 1冊 19cm

旭川の町勢のほか、官公庁・教育・商工その他各種団体や、弁護士・医師・産婆などの紹介もあり。

H291.45/Ku

新天地の天塩 全 久木田重平編 天塩村（留萌） 久木田重平 1915 76,12p 図版19cm

上編は北海道概史、中編は天塩村・遠別村・幌延村・沙流村各々の沿革や現況、全体の半分以上を占める下編（p83～）は名士・実業家など170余名の来歴紹介（一部肖像あり）。地域別に排列。目次で氏名と職業を一覧できる。

H291.561/Ka

札幌案内 狩野信平編 札幌 みやま書房 1974 108p 13×19cm

沿革を略記した後、官公庁・病院・寺社・学校・商工その他各種団体を概説。札幌区総代人や医師・文人・武芸家などの人名録もあり。明治32年の広目屋発行の複製版。

291.5 空知・石狩地方

H291.561/Mi

みなみ区ふるさと小百科 みなみ区ふるさと小百科編集委員会編 札幌 南区役所市民部総務課 1997 179p 21cm

札幌市南区に所在する地域のシンボルといえる施設・彫刻・碑・地名、歴史的な事象を五十音順に配列し、解説。項目ごとに参考文献を付記。一部写真あり。巻末に南区略年表・統計区別人口の推移・参考文献一覧あり。

H291.561/Sa

札幌便覧 大沢興国編 札幌 大沢興国 1900 72p 19cm

札幌の官公庁・商工業・公共施設・団体の住所等を簡単に紹介している。明治33年開通の区内電話番号簿も収録。

H291.561/Sa

札幌要覧 札幌区協賛会編 札幌 札幌区協賛会 1918 104p 18cm

札幌の地勢・沿革と、官公庁・産業界・教育施設等の住所・設立年・代表者名を簡単に紹介している。一部写真あり。新聞雑誌の紹介では各々創刊年月・刊行頻度まで明記。

H291.561/Sa

札幌便覧 札幌図書出版館編〔札幌〕〔札幌図書出版館〕〔1908〕77p 19cm

前半では札幌の官公庁・商工業・新聞社等の業務内容・住所・電話番号を紹介。後半では小樽を扱っている。弁護士や芸妓人名録などもあり。

291.6 日高・胆振地方

H291.661/Mu

室蘭市概要 全 会沢常蔵著 室蘭 室蘭弘道館 1935 126,100p 19cm

前半では室蘭市内各町における地名の起源・伝説・由来・出来事等を、後半では各施設・団体・名所の歴史・由来等を紹介している。

291.7 後志地方

H291.71/Sh

後志國要覧 北海出版社編 小樽 北海出版社 1909 264p 19cm

前半では後志の各郡の歴史や地勢、後半は官公庁・産業界の名士、商店の代表者の経歴を紹介。巻頭には建築物・風景の写真、巻中には名士や商店等の写真を掲載。

H291.71/Y

小樽区外七郡案内 山崎鉦蔵著 小樽区 北世界支社 1909 108,248,233p 20cm

小樽区と余市・古平・美国・積丹・忍路・高島の6郡の地勢・沿革等を紹介。公共施設や商業施設の内容と代表者の他、各郡ごとに名士を紹介している。一部写真あり。

H291.722/Mu

小樽 棟方虎夫著 小樽 小樽発行所 1914 718p 図版16p 19cm

前半では小樽の地勢や歴史・現況、後半では公共施設・商業施設の紹介をしつつ、代表的人物の経歴等を掲載。一部写真あり。附録に小樽商工組合人名録あり。

H291.722/O

小樽繁昌寿語六 喜信堂〔編〕小樽区 喜信堂 1907 1枚 63×94cm

小樽にある商店をイラストに描いて並べ、双六風に紹介したもの。店名・住所・電話番号を付記。多色刷り。図面右下部分は破損。

291.8 松山・渡島地方

H291.86/Ha

函館新繁昌記 上篇 柏倉菊治著 東京 柏倉菊治 1888 131p 19cm

函館の財産家・業種別の商店代表者のリスト、名所の解説を掲載。財産額および統計数値は明治 20 年 8 月調査による。附録の「函館有名一覧」は代表的名士のリスト。下巻は未刊行。

H291.86/I

最新函館案内 井原辰五郎著 函館 小島大盛堂 1907 87,162,103p 19cm

全体が 3 篇に分かれ、上篇では函館の歴史・地勢等、中篇では所得納税者人名表と商工業ほか各種団体の所在地・設立年・代表者名等、下篇では神社仏閣・名所等の解説を紹介。

H291.86/O

函館案内 小野寺一郎著 函館 函館工業館 1901 155p 図版 70 枚 19cm

函館にある商店の店名・歴史・営業内容を町別に紹介。前半の図版部分では、その商店の前景写真を掲載。電話番号を付記。

291.9 周辺地域(樺太)

H291.86/To

富の函館 [函館区] [富の函館社] [1912] 288p 19cm

函館の沿革史、官公庁・社寺・公共施設の紹介と、商業・産業の施設・人物を一部写真付きで紹介。

H291.91/Hi

樺太案内地名の旅 菱沼右一著 東京 中央情報社 1938 198,15p 11×19cm

樺太の地名の由来を主にアイヌ語に基づいて解説。本文中に旅行記風の地域紹介も掲載。巻末に五十音順の地名索引あり。

H291.91/I

樺太発展営業写真案内 井上豊太著 真岡(樺太) 営業写真案内発行所 1923 1冊 20×28cm

樺太の公共施設や工場、商店の写真帖。一部住所と電話番号を付記。巻頭に町村長・助役及び収入役一覧表と町村評議員一覧表がある。

H291.91/Ka

行啓記念樺太拓殖写真帖 樺太日日新聞社〔編〕 豊原町(樺太) 樺太日日新聞社 1925 111p 23×31cm

行啓写真に続き、樺太開拓の風景写真、建築物写真は生産額の多い工業・林業・水産業・農業の順に収め、個人の商店や邸宅も紹介。また、官公庁・議会・産業界の人物や開拓功労者の肖像写真を掲載。約 600 名をいろは順にし、更に支庁別に収録。人名索引を付す。

H291.91/Ka

樺太市街地図・商工人名総覧 国書刊行会編 東京 国書刊行会 1981 290p 43cm

何人もの元樺太島民が薄れゆく記憶を辿りつつ描きあげた原図を、編者が収集・取材し地図化したもの。全樺太の市町村ごとの商工業者約 6,000 余を業種別に屋号・商号・代表者氏名・住所・電話番号等を記した商工人名総覧も収録。人名総覧は昭和 14 年度の島内主要地の商工会議所の調査結果による。

H291.91/Sa

樺太之留多加 坂本泰助著 大泊町(樺太) 樺太町村史刊行会 1923 157,119p 図版 19cm

樺太を概説した後、留多加管内の沿革・教育・産業・公共団体等の状況を記す。移住成功者等、有志の経歴を附録として後半 119 ページ分に地域別に掲載。一部肖像あり。目次で人名の一覧可。

H291.91/Sa

樺太之豊原 坂本泰助著 豊原(樺太) 樺太著名町村史刊行会 1922 94,280p 図版 19cm

第 1 編「豊原史」で管内の沿革・現況を記す。第 2 編(後半 280 ページ分)は「人物」で、住民有志の経歴を自治体別、人名のイロハ順に紹介。一部肖像あり。目次で掲載者の一覧可。

H291.91/Sa

最近之樺太 坂本孝信著 大泊町(樺太) 樺太宣伝協会 1924 164,91p 図版 19cm

樺太の沿革・現勢等を前半で述べ、巻末 91 ページ分は有志の経歴を自治体別に人名のイロハ順に紹介。一部肖像有り。経歴の目次で掲載者の一覧可。

H291.91/Ta

樺太企業家之指針 田沢美峰著 樺太 樺太企業家之指針社 1924 296,280p 22cm

前半では樺太の地勢・歴史・概況、後半は官公庁・産業界の人物の経歴を紹介。肖像写真は巻中にまとめて掲載。

補 遺

《 059 年鑑 》

H059.31/To

十勝綜合便覧 昭和 25 年度 野川良編 帯広 十勝民声公論社 1949 64,88p 19cm

『帯広市便覧』(十勝農民新聞社 1948)を全十勝に拡大した姉妹篇。前半は十勝を概観し、帯広市の市勢、官公署・学校・金融・商工その他各種団体の主要人事録とつづき、後半で同様に他の町村に触れる。

《 281 人物文献 》

H281/Sa

開道五十年記念北海道 沢石太, 工藤忠平編 函館区 鴻文社 1918 437,742p 図版 26cm

前半は開拓使以来五十年間の拓地殖民、各般施設経営に関する進歩発展の事績を収集網羅し紹介。後半 742 ページ分は史伝および人物編。松前藩祖武田信広を始めとし、歴代開拓使・北海道庁長官、開拓功労者、各界の名士・実業家など多数の人物と、主要企業などを紹介。概ね肖像あり。巻頭の目次で人名や団体名の一覧可。また多数の商業広告には、創業年を記すものも少なくない。『北海道開拓五十年史』(1921 年刊 H281/Sa)は本書の再版で並装本。

H281.035/Te

帝国データバンク会社年鑑 北海道版 帝国データバンク編 東京 帝国データバンク 1994 - 2001 31cm

『北の資料』106 (p22)で紹介済み。2002 年版(2001 年 11 月刊)をもって廃刊決定。

H281.04/Ho

ほっかいどう百年物語 北海道の歴史を刻んだ人々 。 STVラジオ編 中西出版 2002 343p 19cm

毎週、北海道ゆかりの人物にスポットを当て、その人生を約六千字の放送原稿にして朗読する 30 分のラジオ番組の出版化。2000 年 10 月開始で現在も放送中。榎本武揚、松浦武四郎に始まり、菊地トメ(北見の鉄道僚の寮母)、繁次郎(江差民話の主人公)まで 38 名を収録。目次で一覧可。肖像あり。巻末に参考文献を付す。

H281.162/Ki

北見大観 北見新聞社編 野付牛町(網走) 北見新聞社 1934 1冊 26×35cm

網走支庁管内の各町村ごとに現況、名勝風景、事業と人物の記事(経歴等)と写真を多数掲載。北見新聞 6000 号記念として北見地方の発展を紹介するもの。

H281.162/Ni

新興の野付牛大鑑 昭和 13 年度版 日刊新北見社編 野付牛町(網走)日刊新北見社 1938
1 冊 19×22cm

街並み、学校・病院・会社・商店その他主要な団体の建物の写真と概要説明、代表者
(一部略歴・肖像あり)など、野付牛町の現況を紹介する写真集録。

H281.25/Ku

損得番付表 釧路新聞(昭和 32 年版～同 60 年版) 釧路新聞社編 釧路 釧路新聞社
1986 1 冊 37×42cm

昭和 33 年から 61 年まで釧路新聞元旦号に毎年掲載されたものの復刻版。前年に損を
した人、得をした人の番付で、各年釧路・根室地方の約 200 名が登場。各人に数行のこ
ニークな解説が付く。一部肖像あり。道東 30 年の発展史であり人間郷土史ともいえる。
ちなみに昭和 32 年版の「得」の横綱は原田康子氏。

H281.26/Ku

釧路百年 開基 100 年記念写真史 釧路新聞社事業委員会編 釧路 釧路新聞社 1969
230p 37cm

釧路の官庁・産業界の主だった人物や施設を多数の写真付きで紹介。資料編では開拓
以来の町の歴史を写真でたどる。巻末には商社索引・人名索引・明治元年からの年表あ
り。

H281.3/To

十勝宝盟鑑 千枝与右衛門著 帯広町(十勝) 十勝三興社 1925 514,116p 23cm

十勝国管内の拓殖・行政の沿革や趨勢のほか、名士・企業家の経歴および事業内容を
一部写真付きで紹介。町村別に掲載。

H281.422/Na

町制記念名寄町勢一班 名寄町勢一班編纂会編 名寄町(上川) 名寄町勢一班編纂会
1916 1 冊 26cm

名寄町の名士の経歴を概ね写真付きで紹介。町勢については巻末で簡潔にふれる。

H281.521/Ho

深川町写真帖 東宮殿下御成婚記念事業 第 1 号 北光社編 深川町(空知) 旭川新聞社
深川支局 1924 1 冊 19×27cm

深川町開拓の功労者・各界の名士、町内の主だった施設とその代表者等を紹介する写
真帖。経歴を付記。巻頭には深川町沿革誌あり。

H281.525/A

滝川町写真帖 東宮殿下御成婚記念事業 第 2 号 北光社編 深川町(空知) 旭川新聞社
深川支局 1924 1 冊 19×27cm

滝川町開拓の功労者・各界の名士、町内の主だった施設とその代表者等を紹介する写真帖。経歴を付記。巻頭には滝川町沿革あり。

H281.525/Ta

滝川開町六十周年記念写真帳 空知労働文化振興会〔編〕 滝川町（空知）空知労働文化振興会 1951 1冊 19×27cm

滝川町の名士・開拓功労者、主だった施設とその代表者、職員などを紹介する写真帖。経歴を付記。

H281.552/Ko

栄え行く当別 御内典記念 小谷吉太郎編 当別村（石狩）小谷吉太郎 1928 1冊 20×27cm

当別村の主だった施設の写真、名士や開拓功労者の肖像を、経歴を付記して紹介する写真帖。村長ほか数名の有力者を配した後、人名のイロハ順に掲載。

H281.91/I

樺太写真帖 池津良雄著 豊原町（樺太）樺太拓殖新聞社 1931 1冊 23×32cm

樺太の官公庁・議会・産業界の人物および開拓功労者多数の肖像写真を掲載。役職と人名を付記。巻末には樺太の施設や風景の写真も掲載。樺太庁始政 25 周年記念出版。

北海道立図書館
北方資料参考図書解説目録 3
《歴史・地理》

索引

見出しとして収録した書名と、解説の中でゴシック体で紹介した書名を五十音順に排列し、その所在をページ番号で示した。

あ	
旭川風景写真帖	43
厚真の旧地名を尋ねて	34
網走管内考古学文献目録	7
案内	42
い	
池田町地名考	34
石狩川の碑	28
石狩湾に沿っての明治百年の旧跡	28
維新前件名別北海道略年譜稿	13
維新前北海道変災年表	11
伊能忠敬関係文献・資料目録	22
伊能忠敬関係文献目録(未定稿)	22
異舶来港年表	8
え	
江差町古文書資料調査所蔵目録	8
蝦夷史料解説	13
蝦夷地名解	32
エドウィン・ダンについての掲載記事の文献目録	21
江戸時代蝦夷関係書目	8
択捉島地名探索行	34
NHKふるさとデータブック	26
お	
雄武文献目録	19
小樽	44
小樽区外七郡案内	44
小樽繁昌寿語六	44
帯広市大観	42
か	
改正字名現在地番調書	35

改正日本地誌略字引	31
改正北海道海陸里程表	39
開拓	18
開拓記念碑集	28
開道五十年記念北海道	47
角川日本地名大辞典 1 北海道	31
樺太案内地名の旅	45
樺太企業家之指針	46
樺太市街地図・商工人名総覧	46
樺太写真帖	49
樺太・千島考古学文献目録	7
樺太千島露日地名対照表	39
樺太に関する古文献の解説	7
樺太の地名	32
樺太之豊原	46
樺太之留多加	46
樺太発展営業写真案内	45
カントリー・サインマップ	26
き	
北の文明開化	20
北見大観	47
北見之富源	42
行啓記念樺太拓殖写真帖	45
郷土史関係人名録	10
郷土史事典北海道	18
郷土地名の起源	33
郷土の歴史資料展出陳目録	11
今日の歴史こよみ	12
今日はなんの日	20
く	
釧路百年	48
こ	
国産振興博覧会北海道歴史館陳列品解説	11
国土地理院発行地図索引図	40
越崎宗一先生著作目録	23
古地図にみる北海道.....	40
5万分1地形図作成・所蔵目録	41
近藤重蔵関係文献目録(未定稿)	22
さ	
最近の旭川	43

最近之樺太	46
最新函館案内	45
栄え行く当別	49
坂本直行著書及関係文献目録	25
坂本亮著作目録	25
札幌便覧	44
札幌案内	43
「札幌地図史」展示目録	40
札幌地名考	37
札幌便覧	43
札幌要覧	44

し

史跡が語る江別の歩み	29
史的遺産基礎調査結果報告書	10
標茶の石碑	29
下北地方史年表	12
社会科のための北海道歴史年表	13
終戦までの北海道内地方史誌	11
昭和維新更生史	27
白滝村の碑集	29
後志國要覧	44
史料と語る北海道の歴史	18
新興の野付牛大鑑	48
新考北海道史年表	12
新修北海道史年表	13
新撰北海道史	17
新天地の天塩	43
新聞と写真に見る北海道昭和史	17
新編北海道の年譜	14
新北海道史	17
新北海道史年表	10

す

菅江真澄研究文献目録稿	25
図名索引	41
図名便覧	41
図録北海道の貨幣	5

せ

石碑石仏	27
石碑石仏を訪ねて	29
全国遺跡地図（文化財保護協会 1968）	5

全国遺跡地図(国土地理協会 1978 - 1979)	5
戦後サハリンにおける集落の改称について	37
戦后市町村史総合目録	14
釧勝根北写真帖	42
そ	
損得番付表	48
た	
大雪山文献書誌	31
大日本地名辞書	31
高倉新一郎博士	25
高倉新一郎博士著作目録	26
たかす百科事典	19
滝川開町六十周年記念写真帳	49
滝川町写真帖	48
たきかわの石碑	29
谷沢先生著作目録(未定稿)	26
W. S. クラーク博士関係文献目録	21
端野町の石碑	30
端野町の和地名	38
ち	
ちとせ地名散歩	36
地名探訪しゃり	37
地名読例	30
チャシ文献目録	6
町制記念名寄町勢一斑	48
て	
帝国データバンク会社年鑑	47
と	
東西蝦夷山川地理取調図地名索引	40
道南遺跡分布事典	5
道南の碑	27
当別の歴史を刻む碑(いしぶみ)	28
東北・北海道の貨幣	5
十勝綜合便覧	47
十勝大百科事典	19
十勝地名解	39
十勝宝盟鑑	48
徳川幕府ノ松前地方直轄時代年表	14
道産子のルーツ事典	20
苫小牧地方地名集	33

とまこまいの石碑（いしづみ）	30
富の函館	45
な	
中川五郎治書誌	24
永田方正第4版『北海道蝦夷語地名解』分類	35
中谷宇吉郎参考文献目録	25
中谷宇吉郎著書諸版目録（稿）	24
『中谷宇吉郎』に関する所蔵図書調査集計一覧	25
名取武光先生著作目録	12
ななえの碑	29
に	
日本地誌略字引	31
日本地名大事典 7 北海道	36
ね	
根室・千島両国ノ地名ニ就イテ	36
年表でみる北海道の歴史	12
年表・北海道の百年	17
は	
函館案内	45
箱館英学事始め	15
函館郷土暦物語	20
函館新繁昌記	44
函館地名考	32
函館・道南大事典	20
函館のいしづみ	27
輓近大日本拓殖史	18
藩史大事典 第1巻 北海道・東北編	16
ひ	
美唄の碑	27
ふ	
深川町写真帖	48
福土成豊関係資料調査目録	21
福土成豊関係文献目録	21
ふるさと探求	16
ほ	
北海道案内	42
北海道遺跡埋蔵文化財包蔵地一覧	6
北海道蝦夷語地名解	35
北海道（渡島管内）埋蔵文化財包蔵地分布図	6
北海道覚え書	15

北海道外交関係史料目録	8
北海道関係地図・図類目録	40
北海道元祖物語	15
北海道行幸啓誌	20
北海道郷土史事典	14
北海道郷土暦	13
北海道釧路国便覧	42
北海道郡区改正町村里程名録	40
北海道考古学邦文文献目録	6
北海道事始め	15
北海道史	17
北海道史教材作成の手引き	9
北海道市町村旗一覧	21
北海道市町村史所在目録	9
北海道市町村史書目稿	11
北海道市町村史編集の手引	16
北海道市町村名の起源	34
北海道史に関する研究書概説	12
北海道史年表	9
北海道史年譜	8
北海道史の歴史	13
北海道集落地名地理	38
北海道史略年表	9
北海道史料	16
北海道史料展覧目録	10
北海道空知支庁管内考古学邦文文献目録	10
北海道大百科	26
北海道拓殖写真帖	41
北海道地名一覧	38
北海道地名解	34
北海道地名解	35
北海道地名漢字解	33
北海道地名誌	36
北海道地名小辞典	37
北海道地名の旅	32
北海道地名の呼び方	33
北海道地名分類字典	33
北海道道路料程表	30
北海道なんでもルーツ	15
北海道における日米の歩み	18

北海道の研究	16
北海道の暦	15
北海道の山名一覧	36
北海道の地名	38
北海道の地名索引	38
北海道の出来事 3 6 5 日	9
ほっかいどう百年物語	47
北海道明治年鑑	7
北海道物語	41
北海道里程表	39
北海道里程表 昭和18年1月1日改正	39
北海道歴史事典	14
本多新・資料目録	22
ま	
埋蔵文化財包蔵地一覧表	6
増毛地方地名解	32
松浦武四郎遺品遺著陳列目録並解説	23
松浦武四郎関係文献目録(未定稿)	23
松浦武四郎関係歴史資料目録	23
松浦武四郎「刊行本」書誌	24
松前地方年表稿	11
間宮林蔵関係文献目録(未定稿)	23
み	
三笠の地名	38
みなみ区ふるさと小百科	43
む	
室蘭市概要	44
むろらん地名散歩	35
め	
明治大正期の北海道 写真編	19
明治大正期の北海道 目録編	19
明和学園附属図書館所蔵旧地崎文庫についての紹介と目録	7
も	
最上徳内関係文献目録(未定稿)	24
森の史跡と碑・石仏	28
紋別石碑散歩	28
や	
八雲町の石碑と像	30
ゆ	
由仁町の記念碑	30

	ら	
羅臼町の地名について		36
	る	
留辺蘂の地名		37
	れ	
歴史資料保存機関総覧		7

『北の資料』掲載記事目録（101号～）

号数	発行年月	
101号	2000.3	「北の資料」掲載記事目録 1～100号
102号	2000.7	特集・北海道の鳥瞰図一覧
103号	2001.12	特集・『北海道立志編』目次
104号	2001.3	平成12年度受入図書紹介（解説） 2000年1月以降の新収雑誌目録 開架新聞紹介
105号	2001.7	北方資料参考図書解説目録 1 《総記・哲学・宗教》
106号	2001.12	北方資料参考図書解説目録 2 《人物文献》

北海道立図書館 北方資料参考図書解説目録 3 《歴史・地理》
(北 の 資 料 第 107 号)

発行日 平成 14 年 3 月 28 日

編 集 北海道立図書館北方資料室

発行者 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

電話 (011) 386-8521

F A X (011) 386-6906

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.jp/hk-tosho/top.htm>
